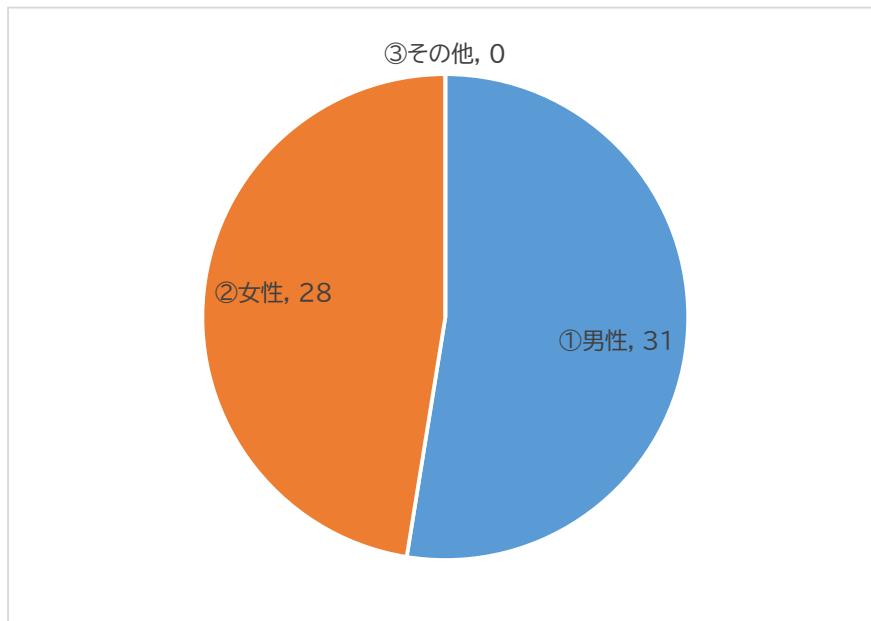


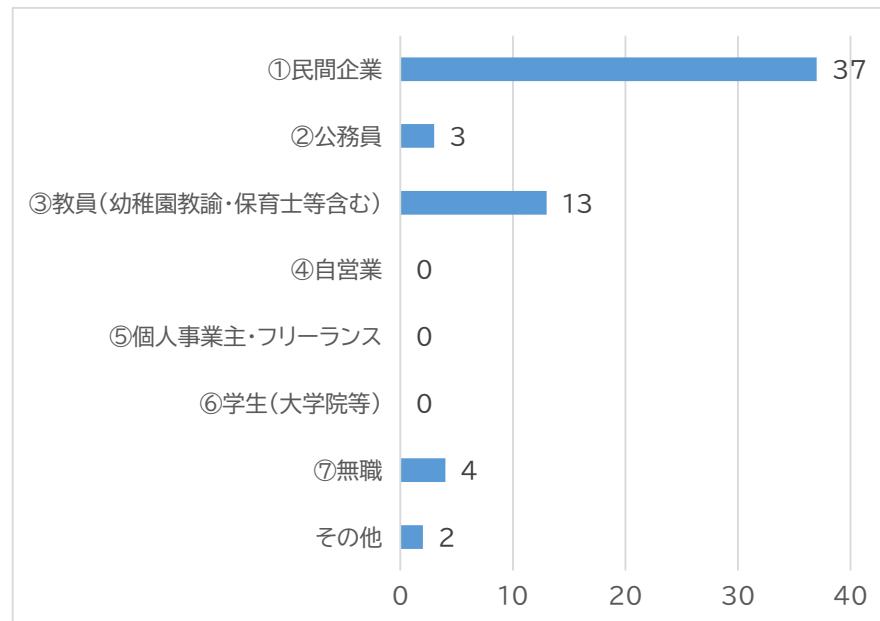
常葉大学卒業生に対するアンケート調査結果

調査の趣旨	卒業生のキャリア(就職・進学)の状況等を把握し、教育活動の改善や学生・卒業生支援の強化等に繋げることを目的として、令和5年度(2023年度)に学部を卒業した卒業生を対象にアンケート調査を実施した。
実施方法	同窓会の協力を得て、令和5年度(2023年度)卒業生に同窓会ホームページ上の調査回答フォーム(Microsoft Forms)のリンクからアンケートへの回答を依頼した。
実施期間	令和7年7月25日(金)～令和7年8月31日(日)
有効回答数	59 件

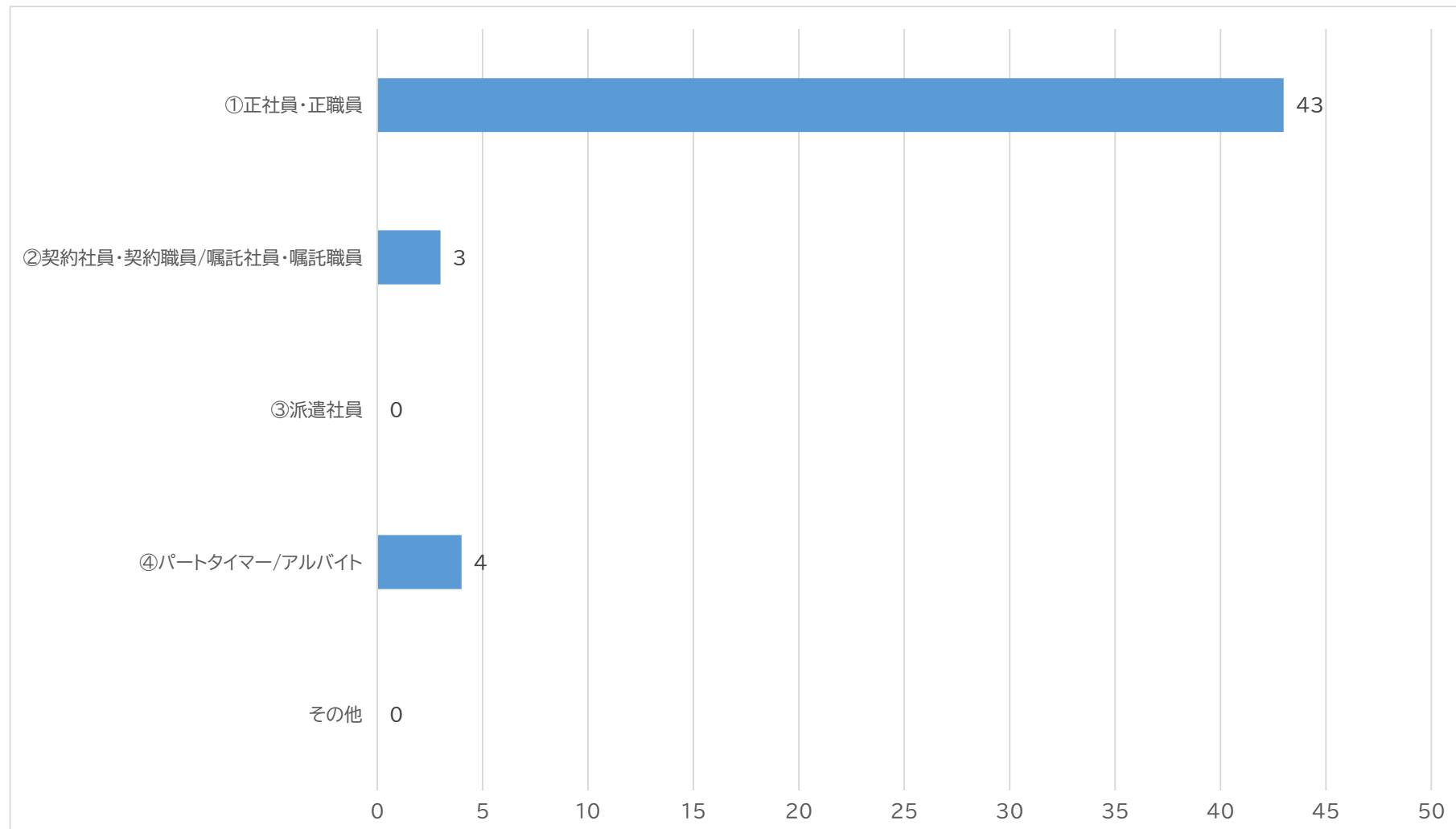
1.あなたの性別について当てはまるものを選択してください。



2.現在の職業について当てはまるものを選択してください。

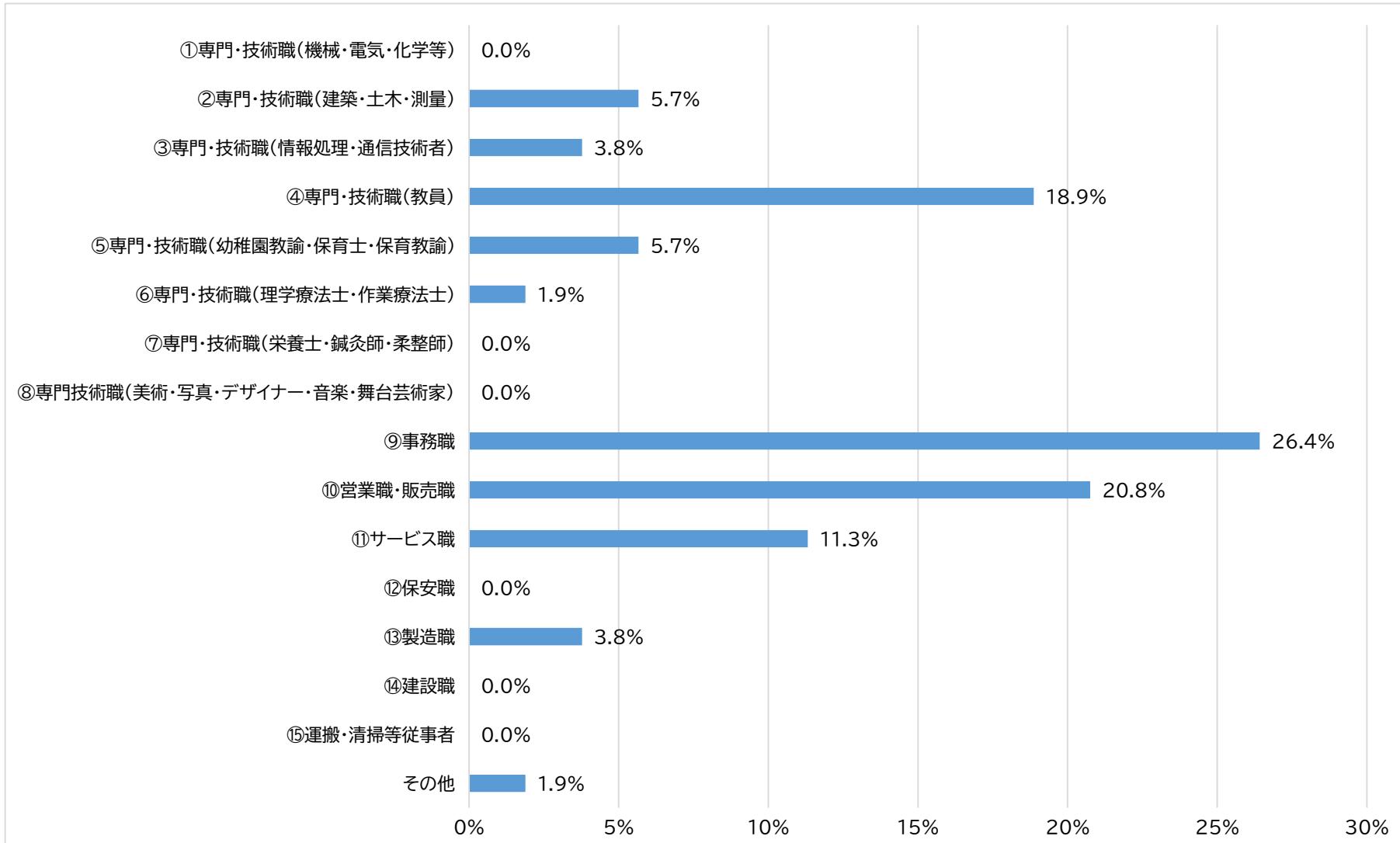


3.あなたの現在の雇用形態について当てはまるものを選択してください。
※問2.①～③に該当する卒業生のみ回答



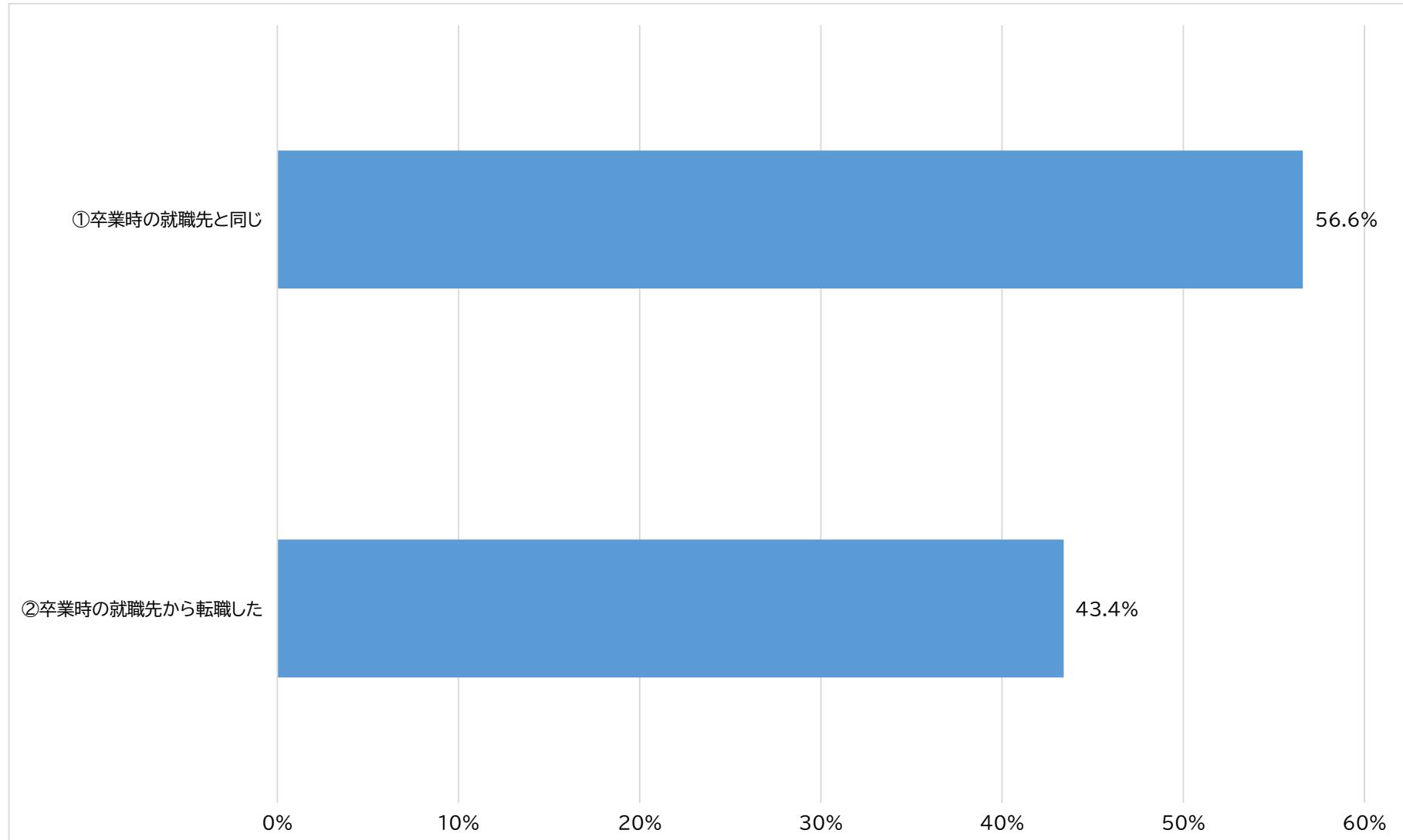
4.あなたの現在の職種について当てはまるものを選択してください。

※問2.①～⑤に該当する卒業生のみ回答

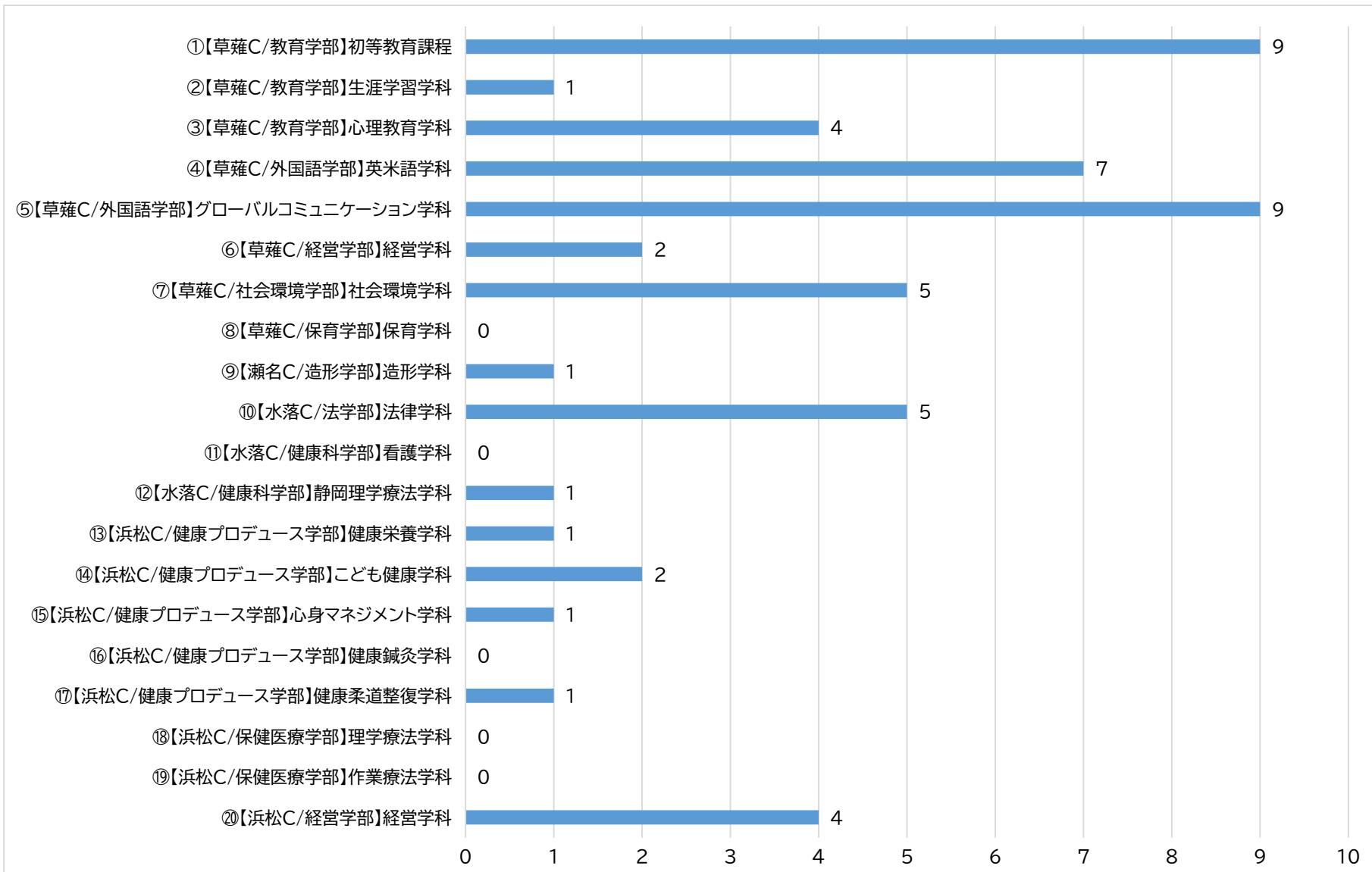


5.あなたの現在の就職先について当てはまるものを選択してください。

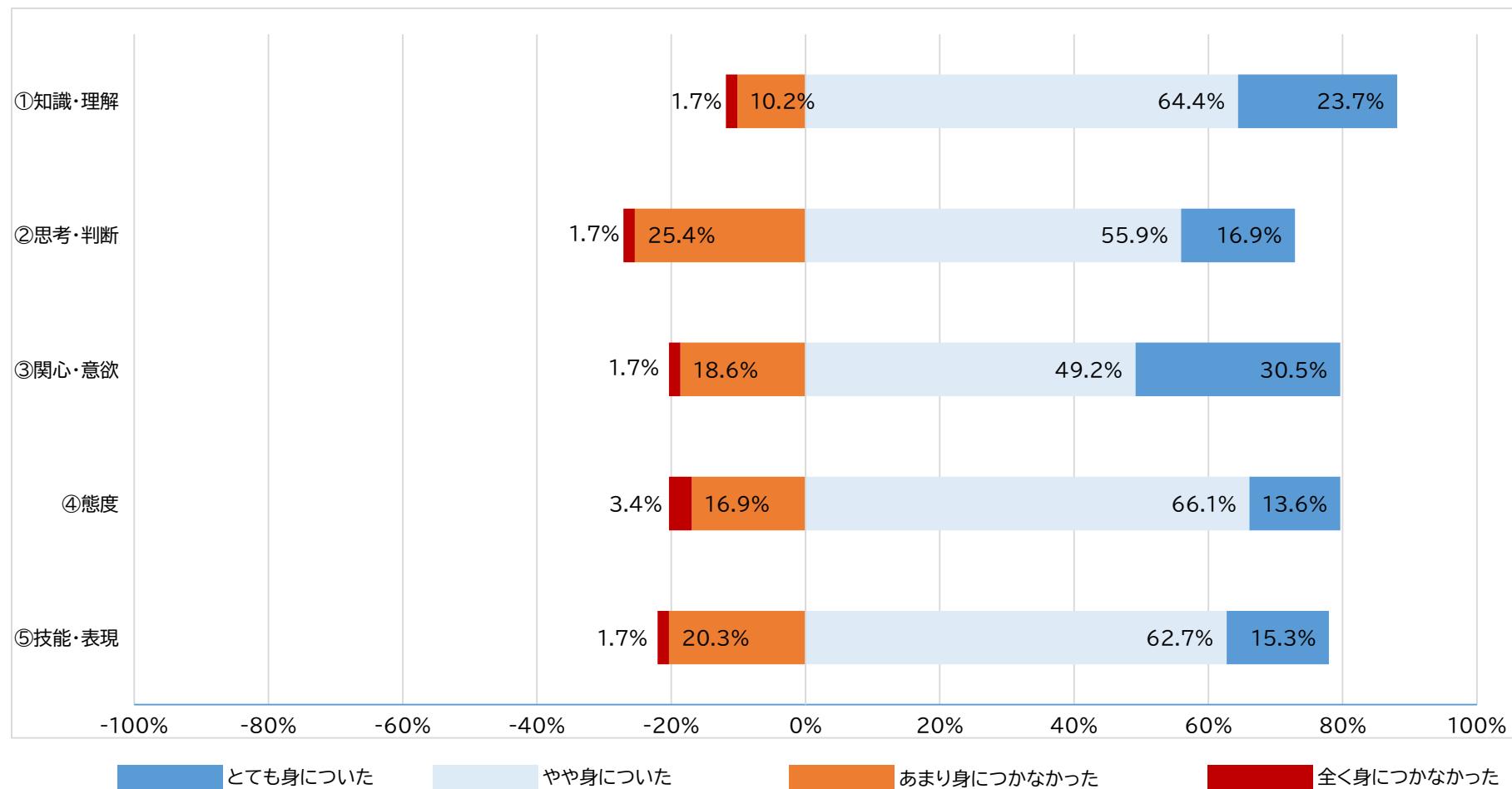
※問2.①～⑤に該当する卒業生のみ回答



6. 卒業した学科を選択してください。

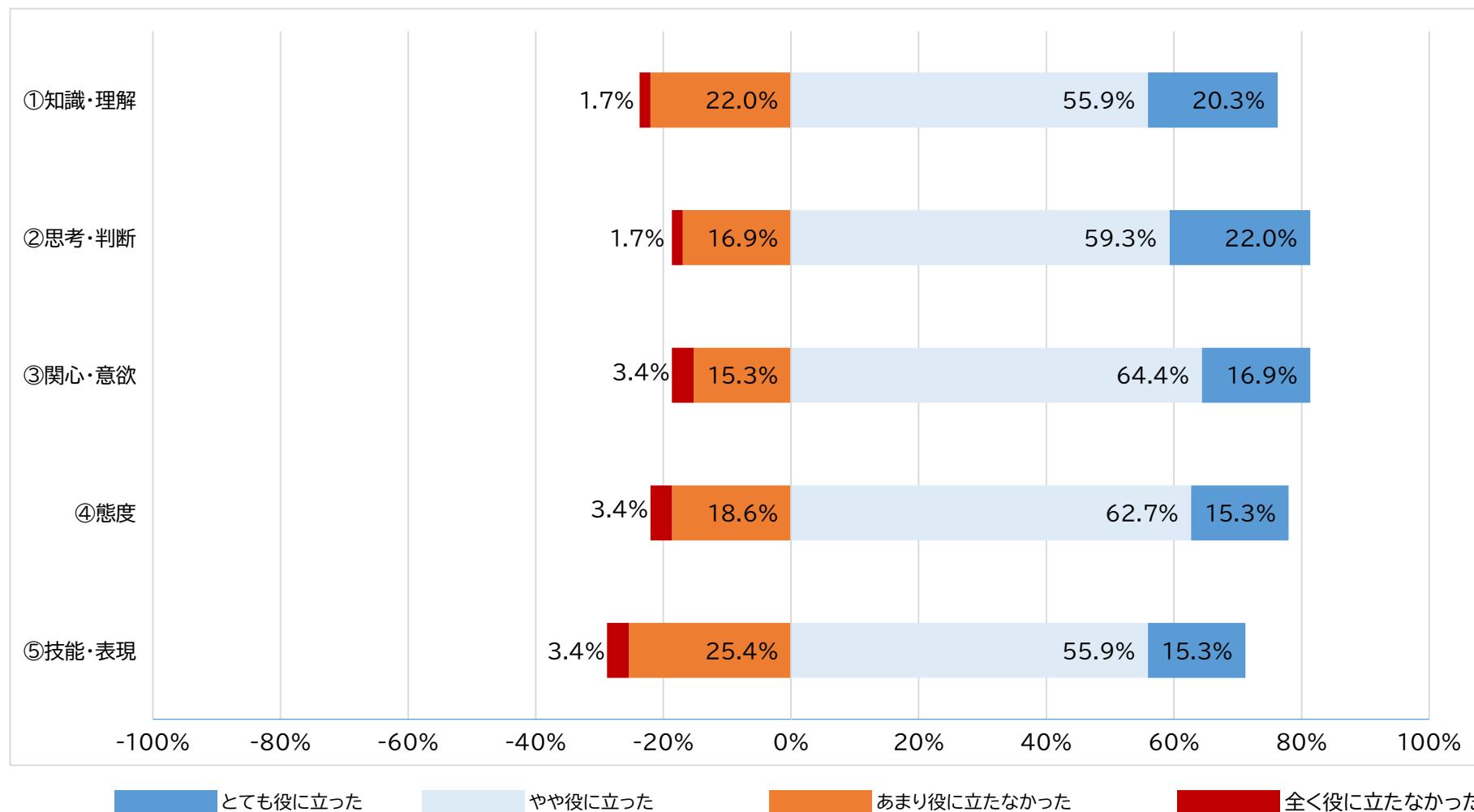


7.本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について、あなたは在学中にどの程度身についたと思いますか。(各項目4段階評価)



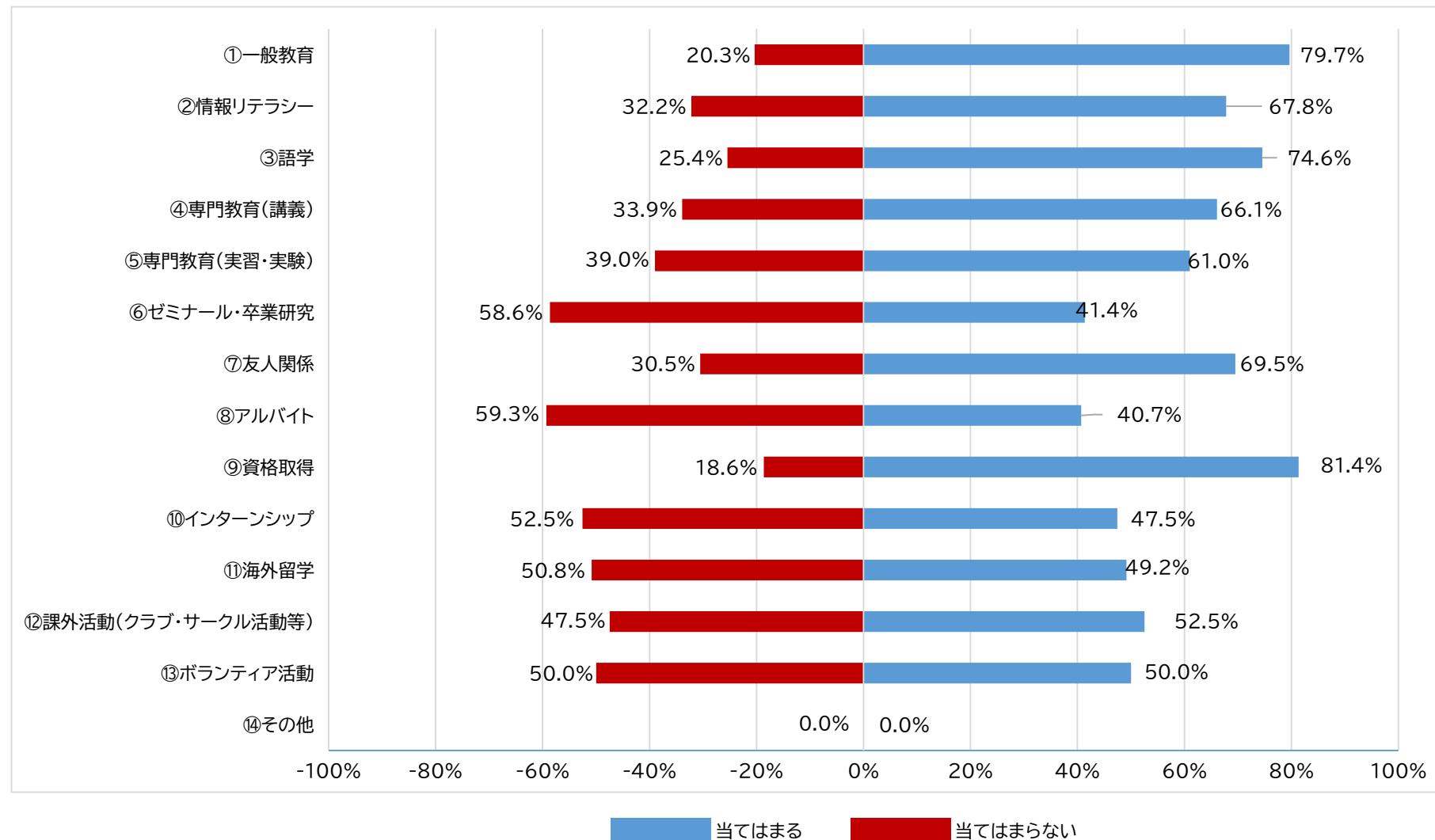
- 5項目のうち、「身についた」と回答した割合が高い項目は「①知識・理解」(88.1%)
- 反対に「身につかなかった」と回答した割合が高い項目は、「②思考・判断」(27.1%)
- 「とても身についた」と回答した割合の高い項目については、「③関心・意欲」(30.5%)

8.本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について
社会人になってから役に立ったと感じますか。 (各項目4段階評価)



- 5項目のうち、「役に立った」と回答した割合が高い項目は「②思考・判断」(81.3%)「③関心・意欲」(81.3%)
- 反対に「身につかなかった」と回答した割合が高い項目は、「⑤技能・表現」(28.8%)「①知識・理解」(23.7%)
- 「①知識・理解」については、「とても身についた」割合が最も高い一方で、「役に立たなかった」と回答する割合も最も高い結果となった。

9.以下の項目について、あなたが学生時代にもっと取り組めばよかったと思うことについて教えてください。

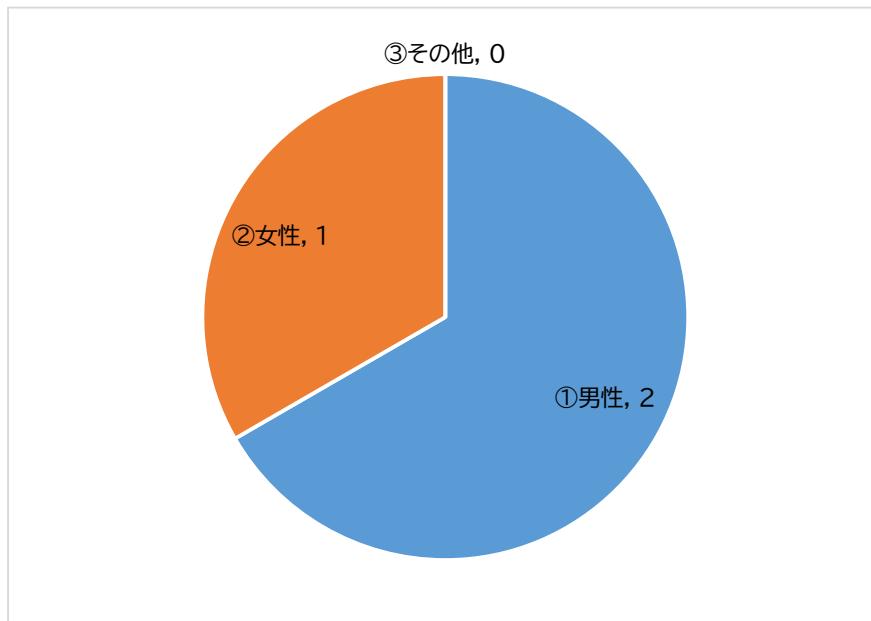


- 「当てはまる」と回答した割合が高い項目は、「⑨資格取得」(81.4%)「①一般教育」(79.7%)
 □反対に「当てはまらない」と回答した割合が高い項目は、「⑥ゼミナール・卒業研究」(65.5%)「⑧アルバイト」(59.3%)

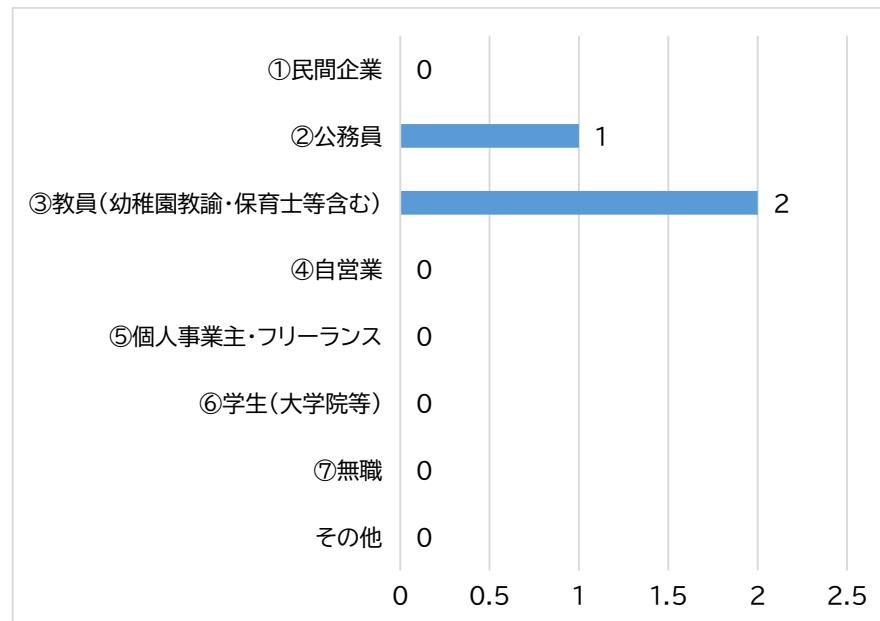
常葉大学大学院 卒業生に対するアンケート調査結果

調査の趣旨	卒業生のキャリア(就職・進学)の状況等を把握し、教育活動の改善や学生・卒業生支援の強化等に繋げることを目的として、令和5年度(2023年度)に学部を卒業した卒業生を対象にアンケート調査を実施した。
実施方法	同窓会の協力を得て、令和5年度(2023年度)卒業生に同窓会ホームページ上の調査回答フォーム(Microsoft Forms)のリンクからアンケートへの回答を依頼した。
実施期間	令和7年7月25日(金)～令和7年8月31日(日)
有効回答数	3 件

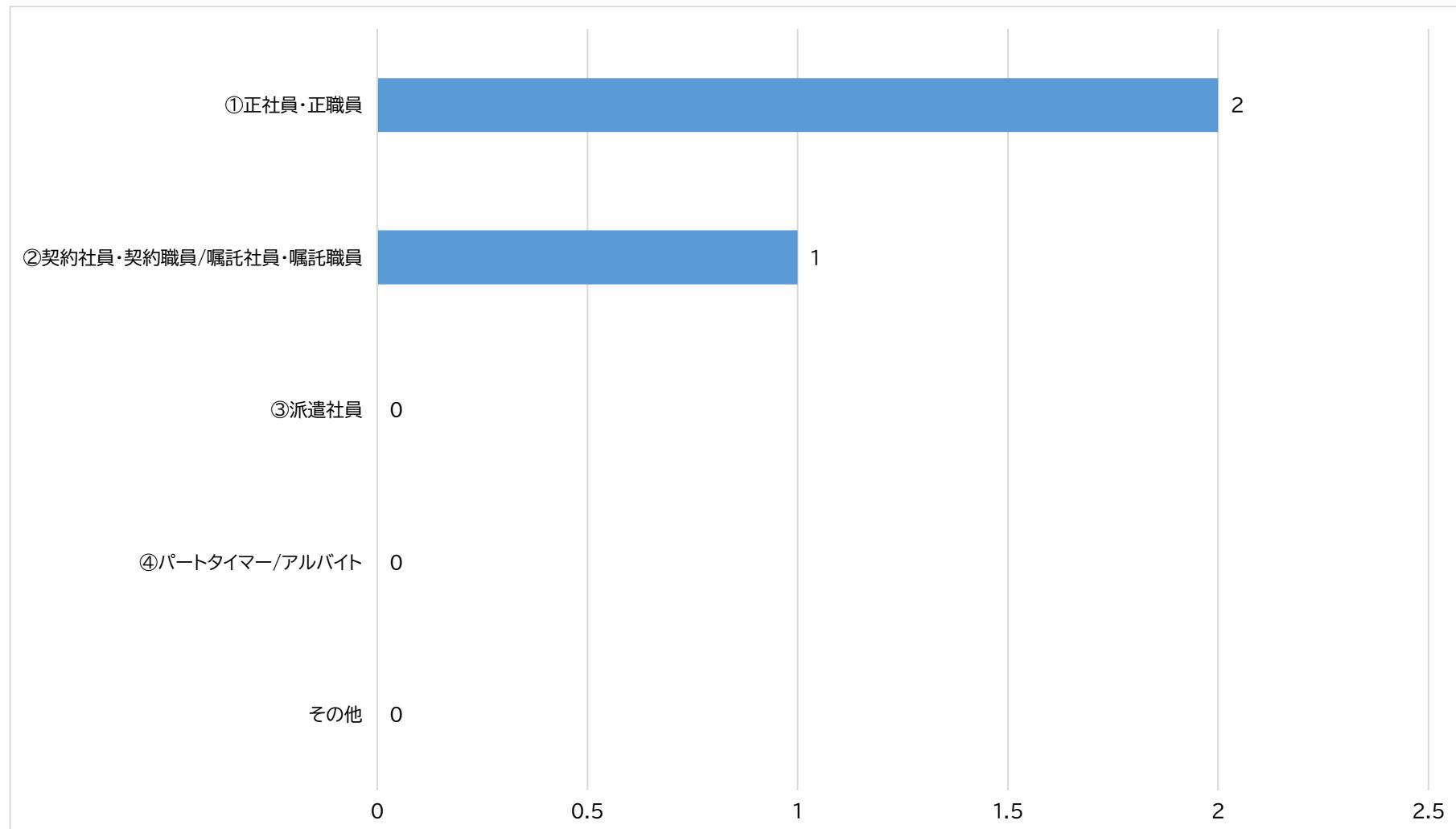
1.あなたの性別について当てはまるものを選択してください。



2.現在の職業について当てはまるものを選択してください。

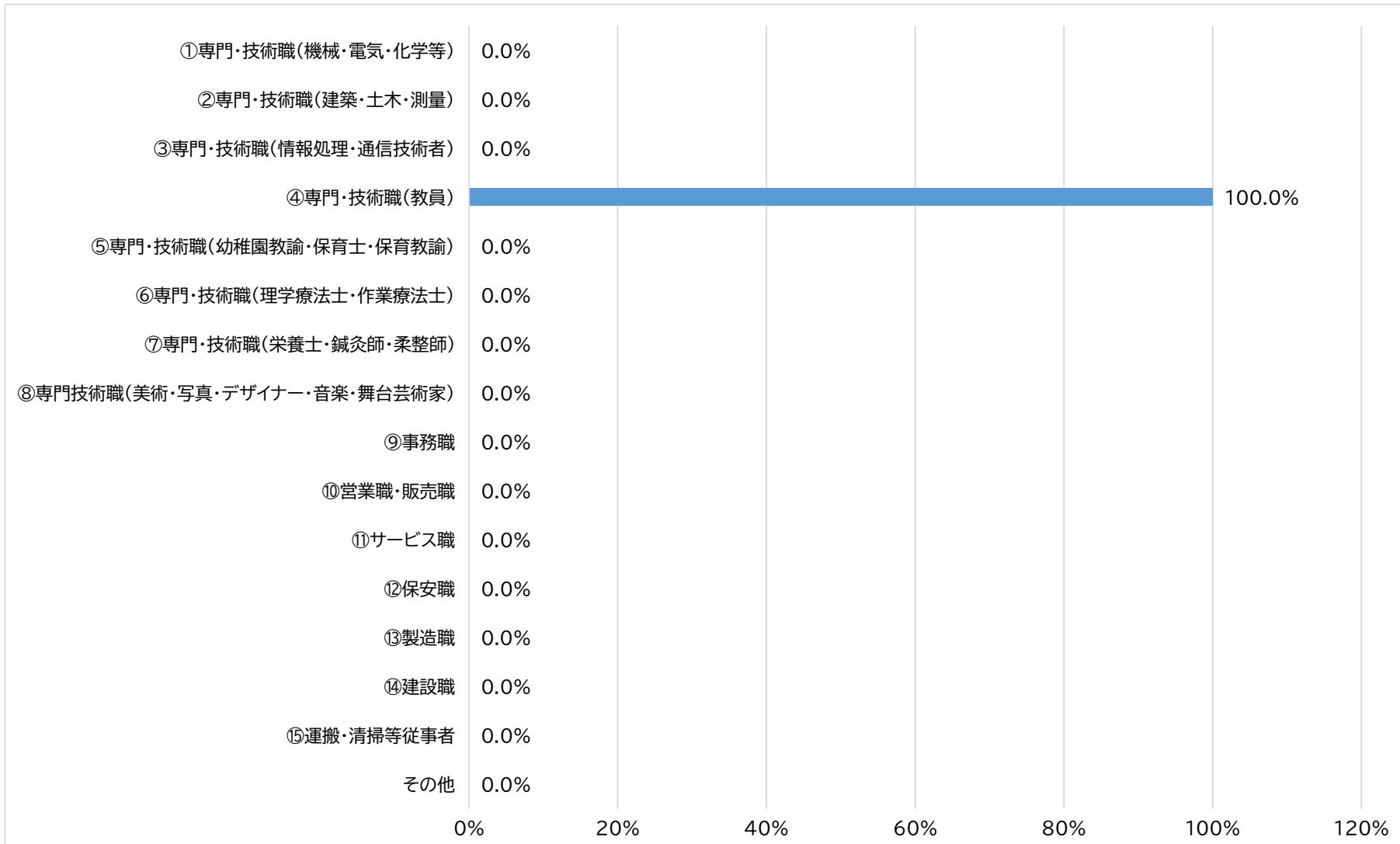


3.あなたの現在の雇用形態について当てはまるものを選択してください。
※問2.①～③に該当する卒業生のみ回答



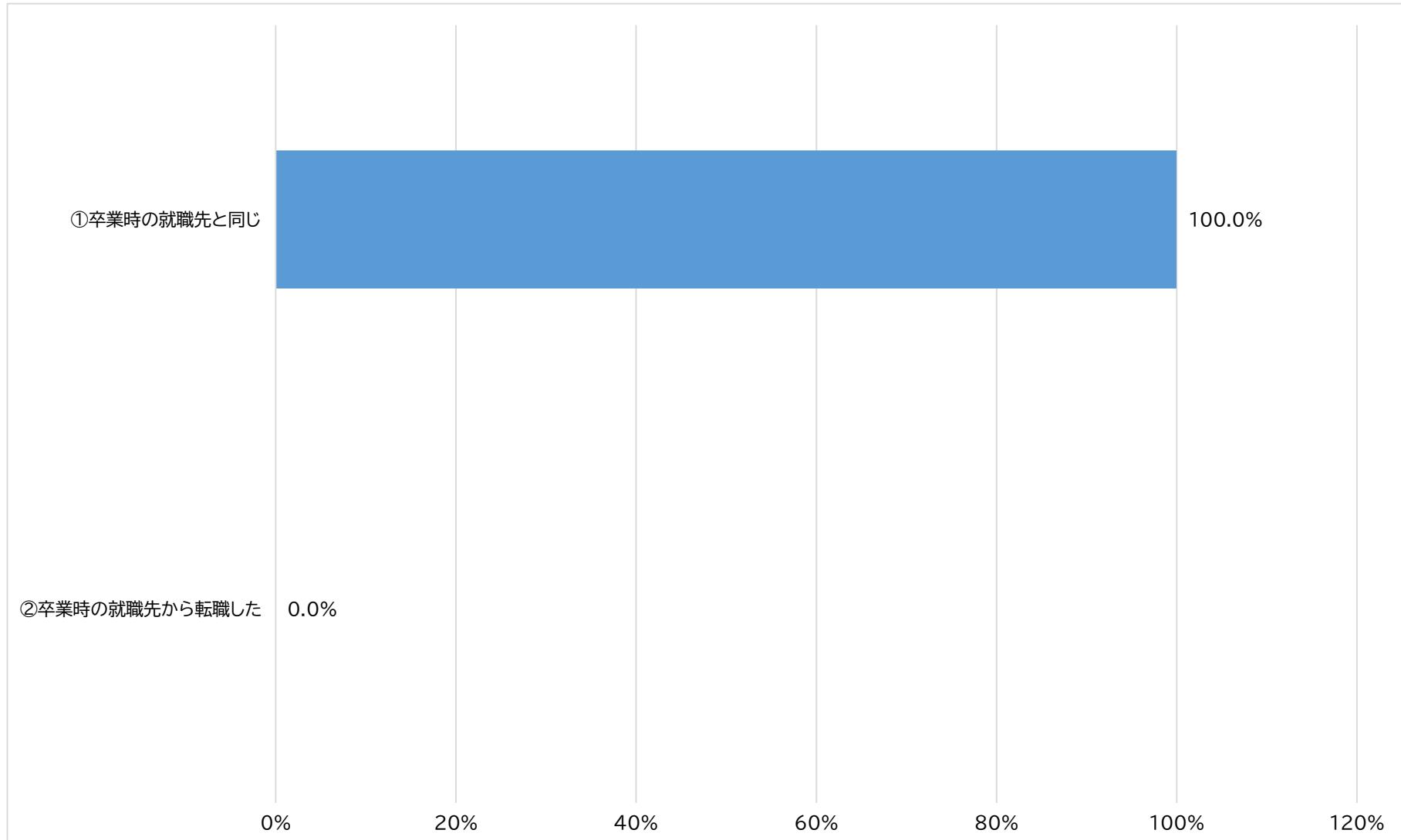
4.あなたの現在の職種について当てはまるものを選択してください。

※問2.①～⑤に該当する卒業生のみ回答

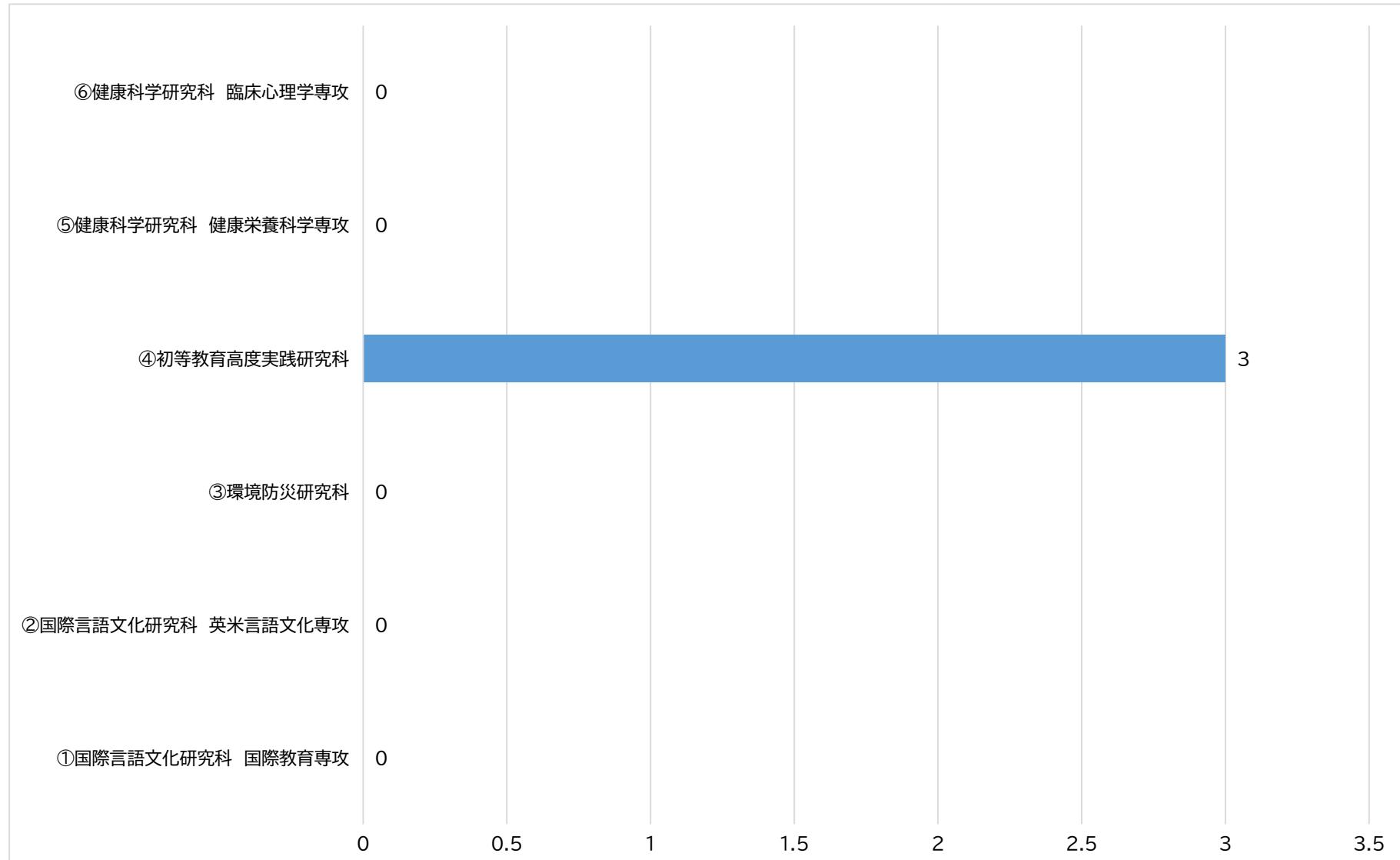


5.あなたの現在の就職先について当てはまるものを選択してください。

※問2.①～⑤に該当する卒業生のみ回答



6. 卒業した学科を選択してください。



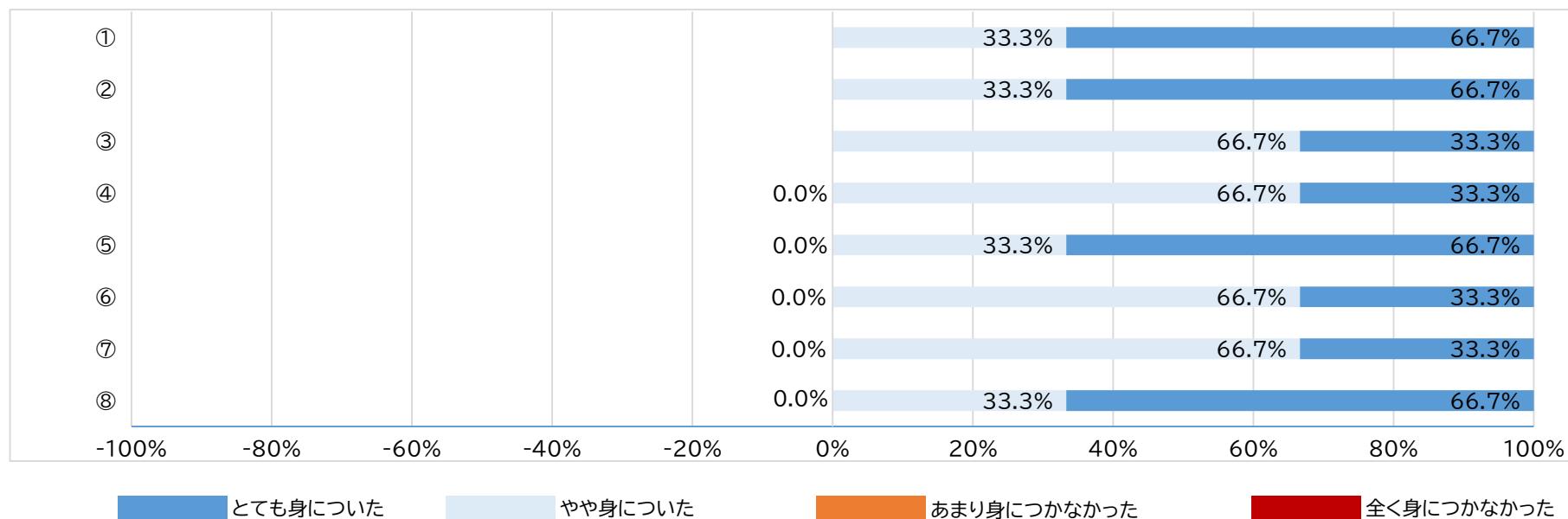
7.本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について、あなたは在学中にどの程度身についたと思いますか。(各項目4段階評価)

ディプロマ・ポリシー

学校教育研究科は、義務教育段階の教育現場に対し、「即戦力の新人教員」ならびに「スクールリーダー」(中核的中堅教員)を育成することを使命としている。

そのため、所定の修業年限在学し、修了要件(最低履修単位数)を満たした「学部卒学生」について、①使命感や責任感、教育的愛情、②社会性や人間関係調整力、③児童・生徒理解や学級経営等の力量、④教科内容等の指導力、⑤学校経営に参画する意欲、力量、⑥静岡県の地域課題への対応力など、「授業づくりと学級経営に関する実践的な指導力・展開力を備えた新人教員」としての資質能力を身につけていることを総合的に判断し、修了判定を行う。

また、「現職教員学生」については、上記①～⑥に加え、⑦管理職を補佐する能力、⑧学校の課題の分析・対応能力など、「学校づくりの中核を担うことのできる高度な専門性を備えた中堅教員」としての資質能力を身につけていることを総合的に判断し、修了判定を行う。修了者には、学位「教職修士(専門職)」を授与する。



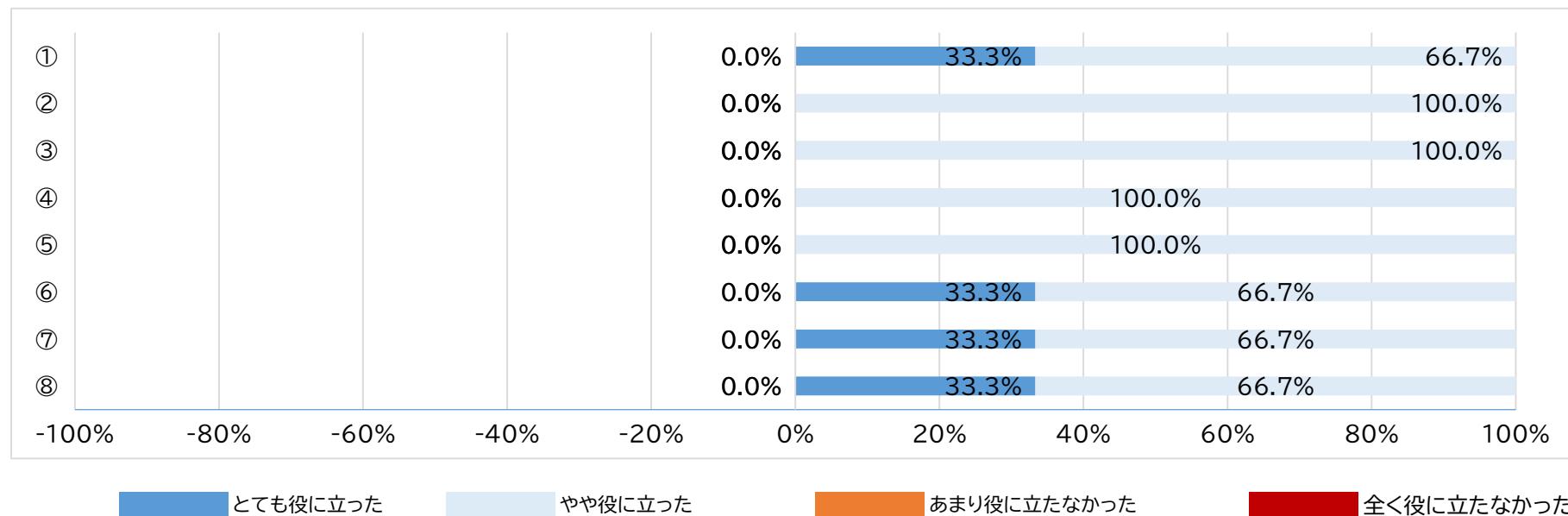
8.本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について社会人になってから役に立ったと感じますか。（各項目4段階評価）

ディプロマ・ポリシー

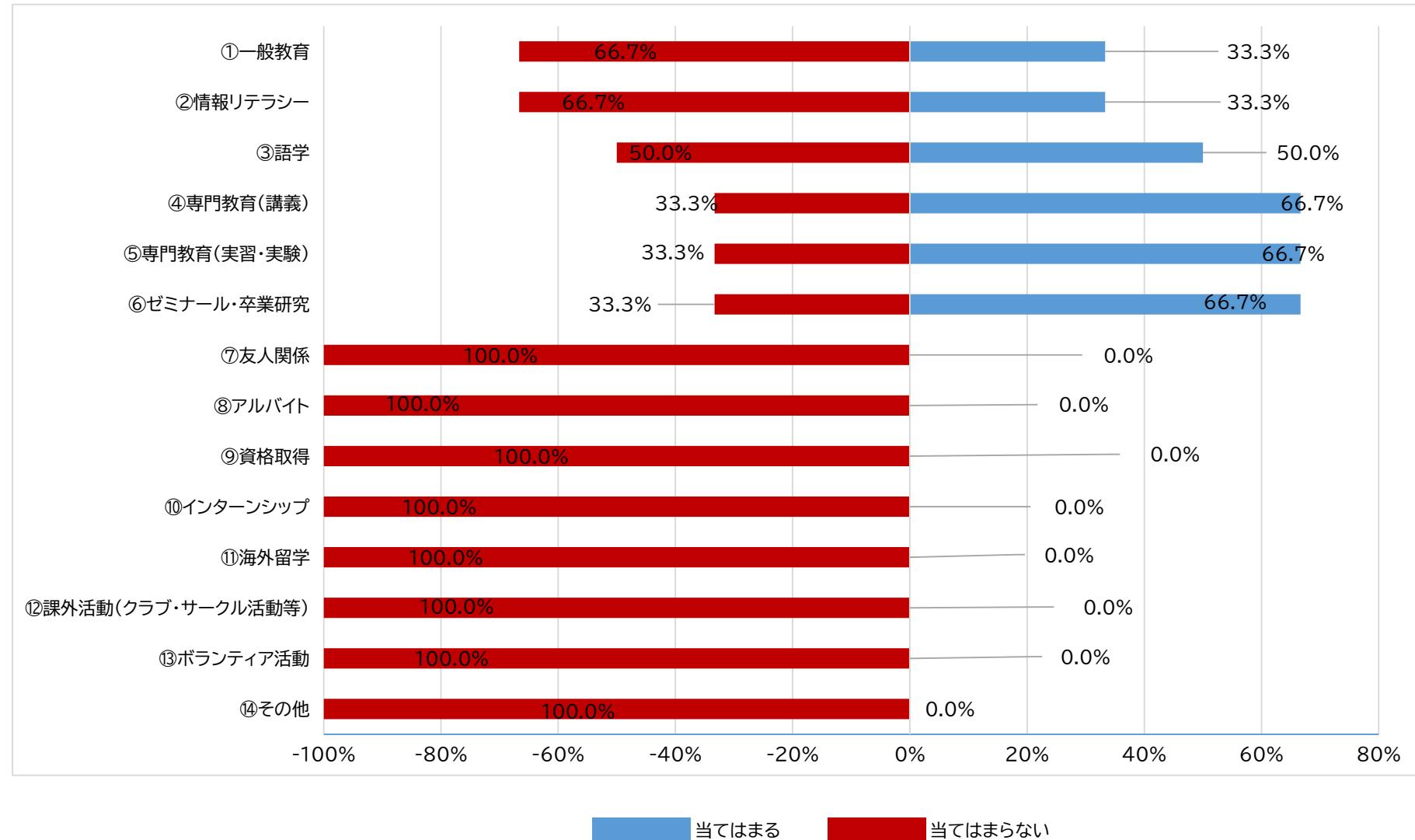
学校教育研究科は、義務教育段階の教育現場に対し、「即戦力の新人教員」ならびに「スクールリーダー」（中核的中堅教員）を育成することを使命としている。

そのため、所定の修業年限在学し、修了要件（最低履修単位数）を満たした「学部卒学生」について、①使命感や責任感、教育的愛情、②社会性や人間関係調整力、③児童・生徒理解や学級経営等の力量、④教科内容等の指導力、⑤学校経営に参画する意欲、力量、⑥静岡県の地域課題への対応力など、「授業づくりと学級経営に関する実践的な指導力・展開力を備えた新人教員」としての資質能力を身につけていることを総合的に判断し、修了判定を行う。

また、「現職教員学生」については、上記①～⑥に加え、⑦管理職を補佐する能力、⑧学校の課題の分析・対応能力など、「学校づくりの中核を担うことのできる高度な専門性を備えた中堅教員」としての資質能力を身につけていることを総合的に判断し、修了判定を行う。修了者には、学位「教職修士（専門職）」を授与する。



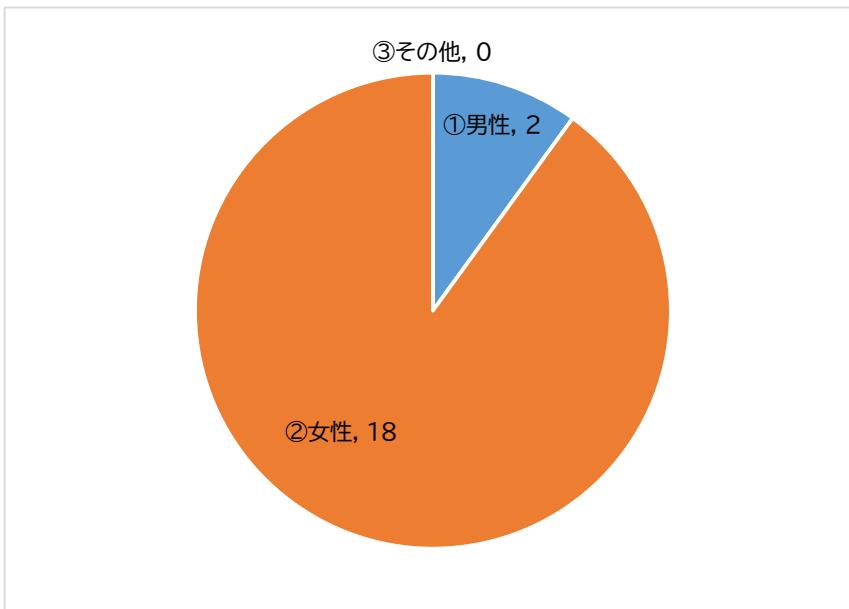
9.以下の項目について、あなたが学生時代にもっと取り組めばよかったと思うことについて教えてください。



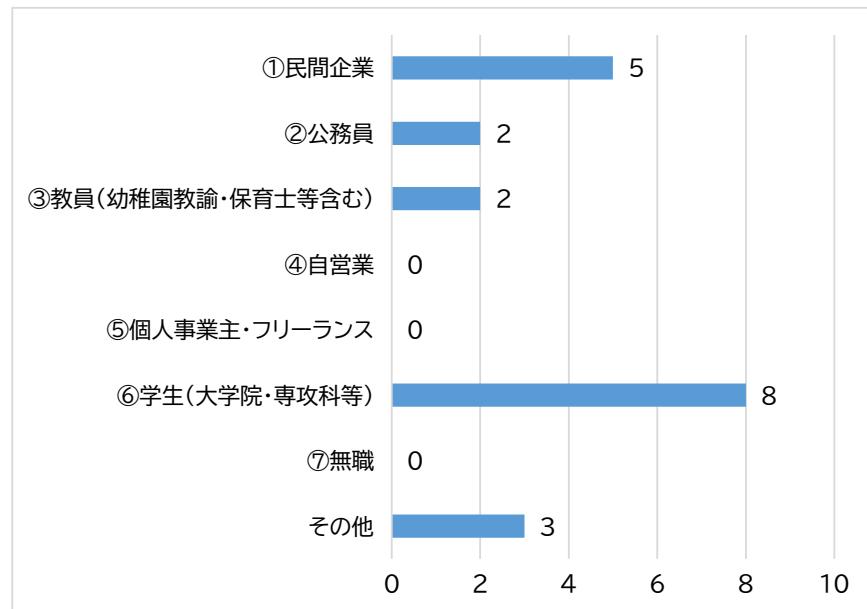
常葉大学短期大学部 卒業生に対するアンケート調査結果

調査の趣旨	卒業生のキャリア(就職・進学)の状況等を把握し、教育活動の改善や学生・卒業生支援の強化等に繋げることを目的として、令和5年度(2023年度)に学部を卒業した卒業生を対象にアンケート調査を実施した。
実施方法	同窓会の協力を得て、令和5年度(2023年度)卒業生に同窓会ホームページ上の調査回答フォーム(Microsoft Forms)のリンクからアンケートへの回答を依頼した。
実施期間	令和7年7月25日(金)～令和7年8月31日(日)
有効回答数	20 件

1.あなたの性別について当てはまるものを選択してください。

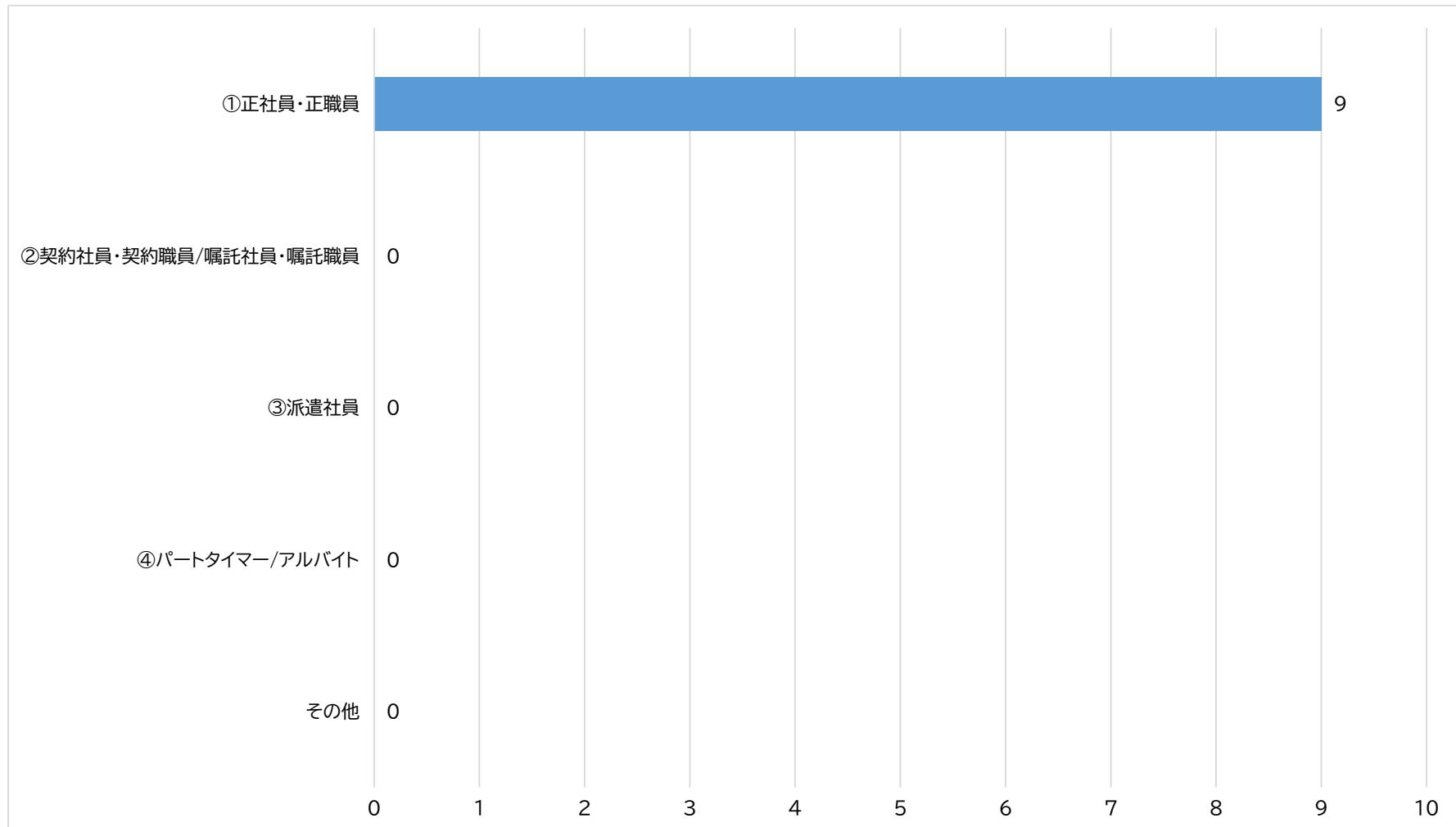


2.現在の職業について当てはまるものを選択してください。



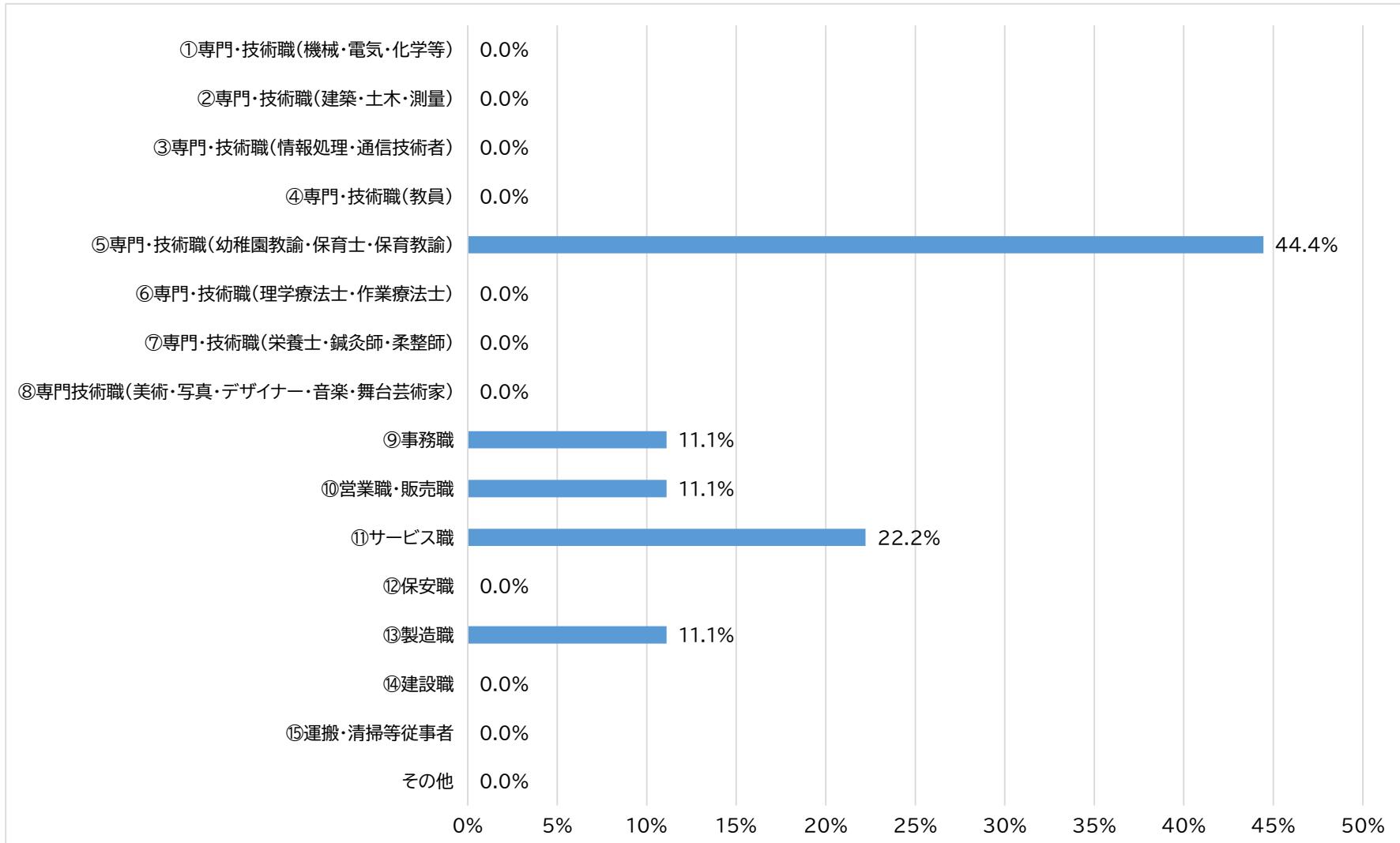
3.あなたの現在の雇用形態について当てはまるものを選択してください。

※問2.①～③に該当する卒業生のみ回答



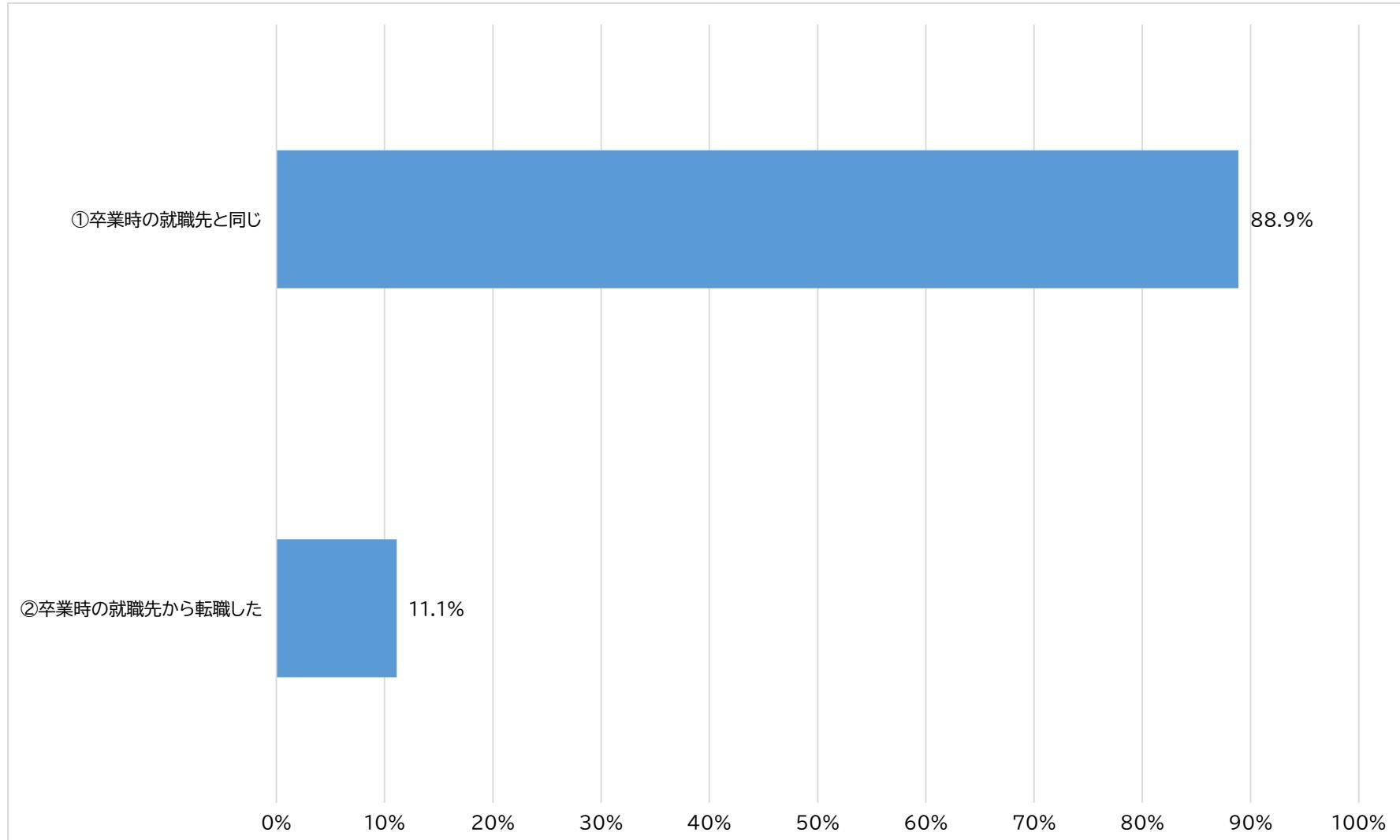
4.あなたの現在の職種について当てはまるものを選択してください。

※問2.①～⑤に該当する卒業生のみ回答

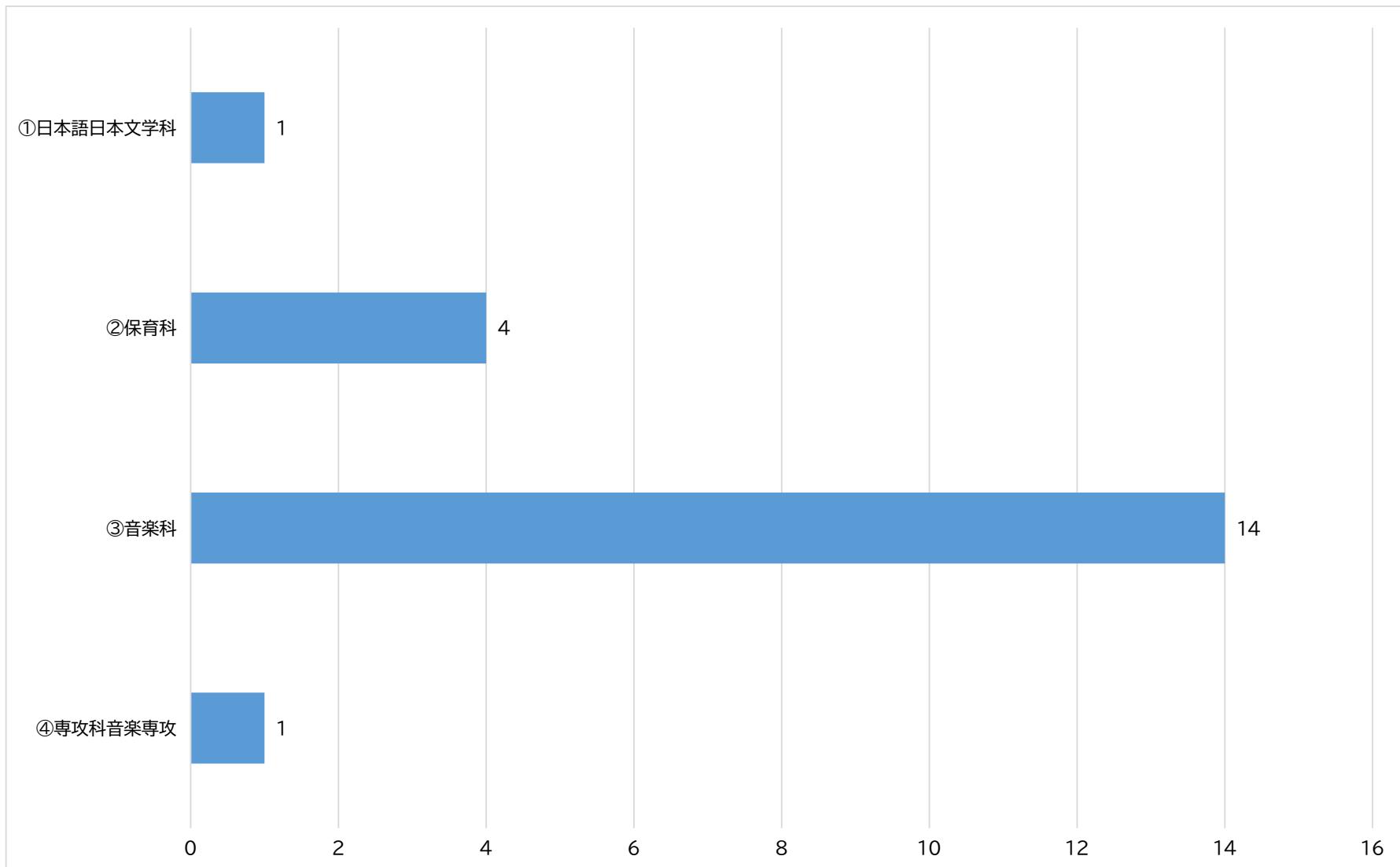


5.あなたの現在の就職先について当てはまるものを選択してください。

※問2.①～⑤に該当する卒業生のみ回答



6.卒業・修了した科を選択してください。

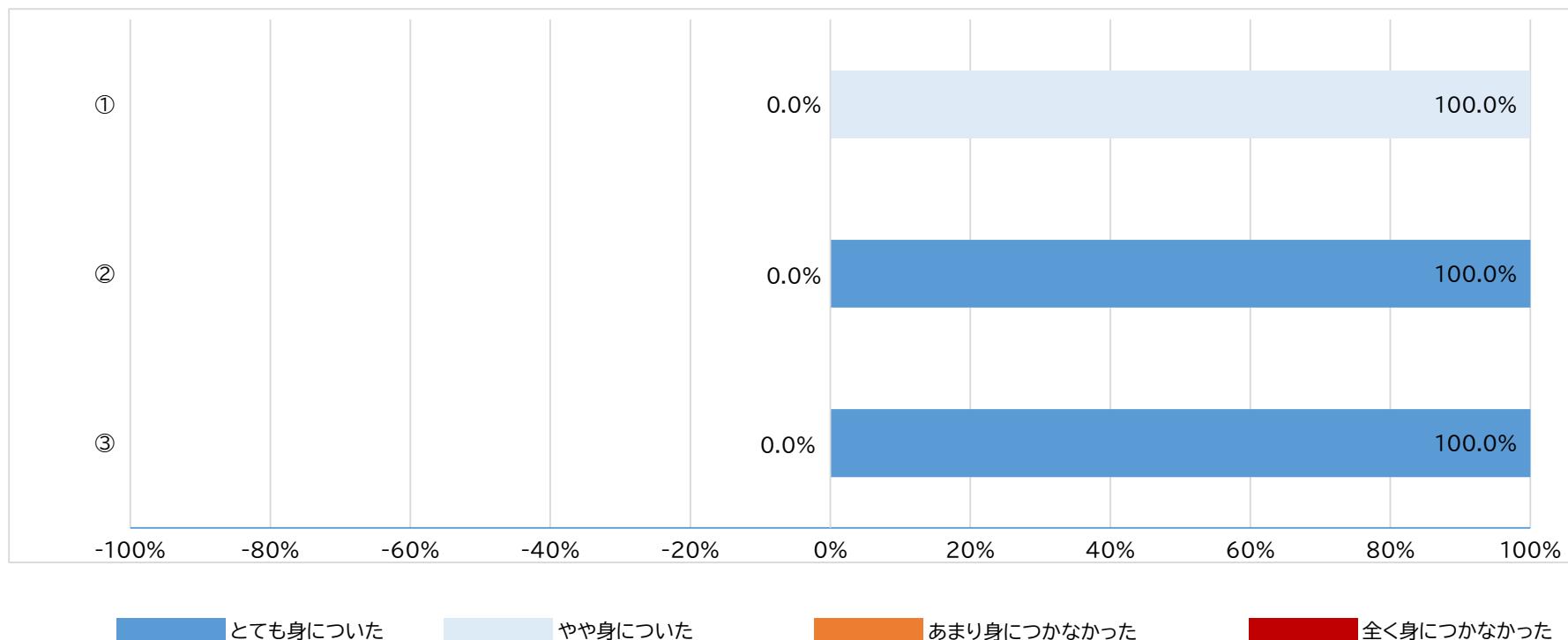


7.【日本語日本文学科】本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について、あなたは在学中にどの程度身についたと思いますか。(各項目4段階評価)

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

所定の単位を修得し、ライフデザイン力として、主体的に学び続ける姿勢を身に付けることをめざします。また、次の内容を満たすことも求めます。

1. 科の教育理念「自主独行」に従い、自らの目的に応じた科目選択・単位修得ができていること。
2. 日本語や日本文学、日本文化の基礎がどれほど身につけられたかは卒業研究で判断される。この研究を作成する過程で、情報を収集する力、情報を考察する力、論理を構成する力、文章をまとめ、発表する力を身につけていること。
3. 授業や行事を通じて、判断する力、協働する力、企画する力を育成していること。

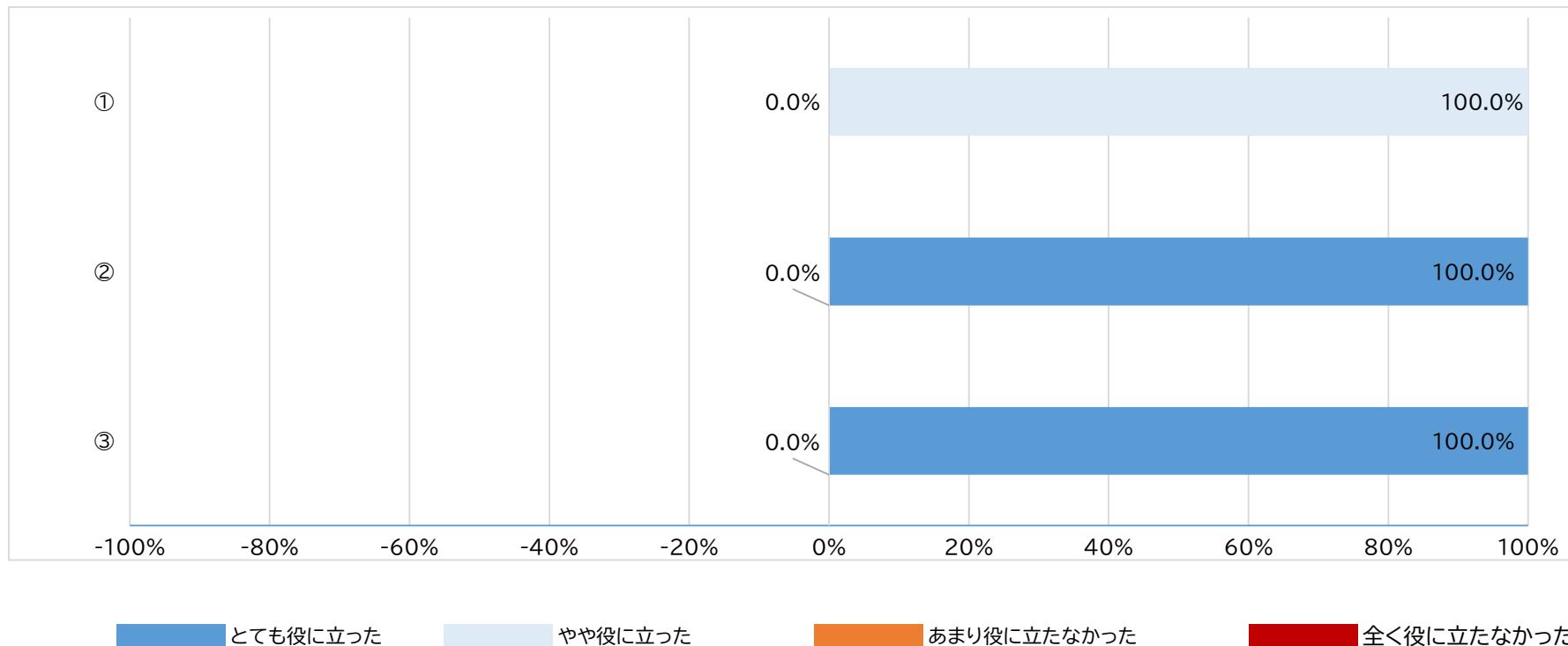


8.【日本語日本文学科】本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について社会人になってから役に立ったと感じますか。（各項目4段階評価）

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

所定の単位を修得し、ライフデザイン力として、主体的に学び続ける姿勢を身に付けることをめざします。また、次の内容を満たすことも求めます。

1. 科の教育理念「自主独行」に従い、自らの目的に応じた科目選択・単位修得ができていること。
2. 日本語や日本文学、日本文化の基礎がどれほど身につけられたかは卒業研究で判断される。この研究を作成する過程で、情報を収集する力、情報を考察する力、論理を構成する力、文章をまとめ、発表する力を身につけていること。
3. 授業や行事を通じて、判断する力、協働する力、企画する力などを育成していること。

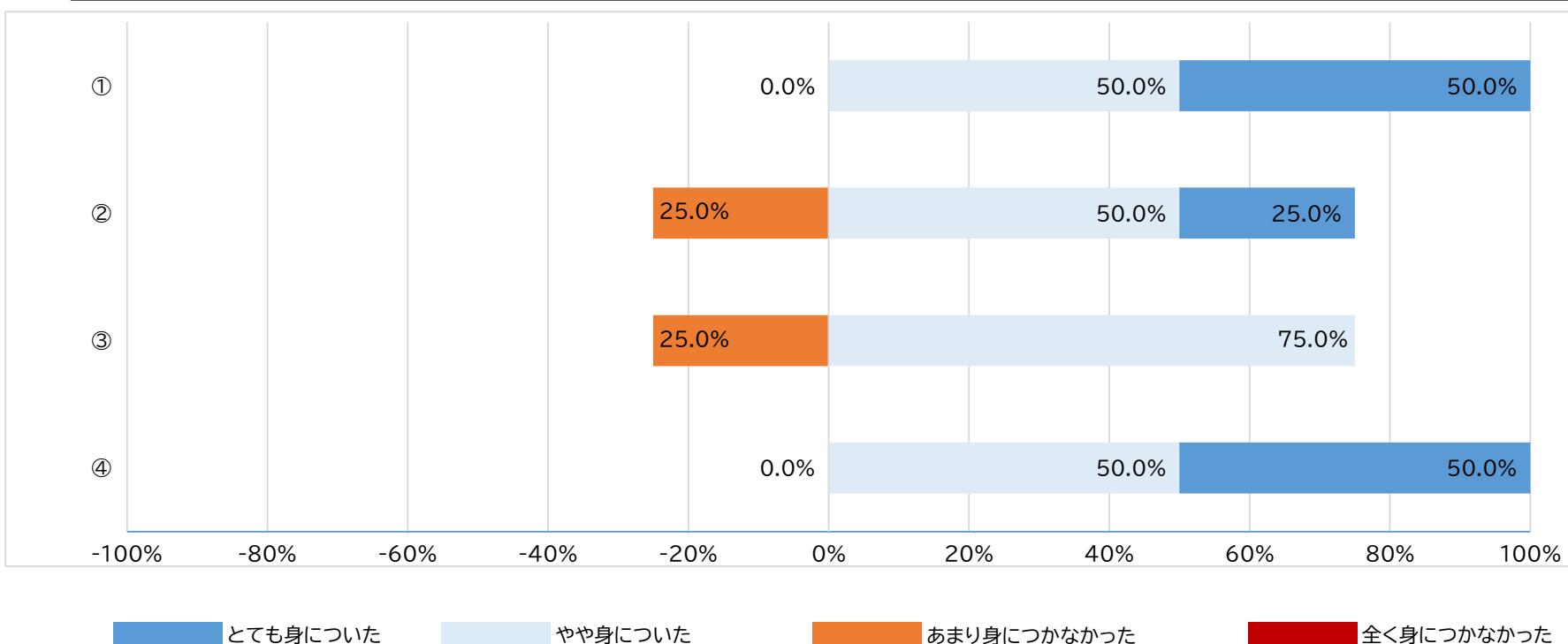


7.【保育科】本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について、あなたは在学中にどの程度身についたと思いますか。(各項目4段階評価)

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保育者としての実践力を修得し、子ども観・保育観を身につけ、子どもと一緒に生活を考え続けることができ、社会の一員として協働し、貢献できる知性と教養を修得できた者に学位を授与します。

1. 保育者としての関心、意欲、熱意を身につけている。
2. 保育及び家庭支援に関する専門的知識と実践力を身につけている。
3. 保育にふさわしい環境を理解し、子どもと一緒に生活を作り上げる実践力を身につけている。
4. 知性と教養を修得し、社会の一員として、また保育者として貢献できる力を身につけている。

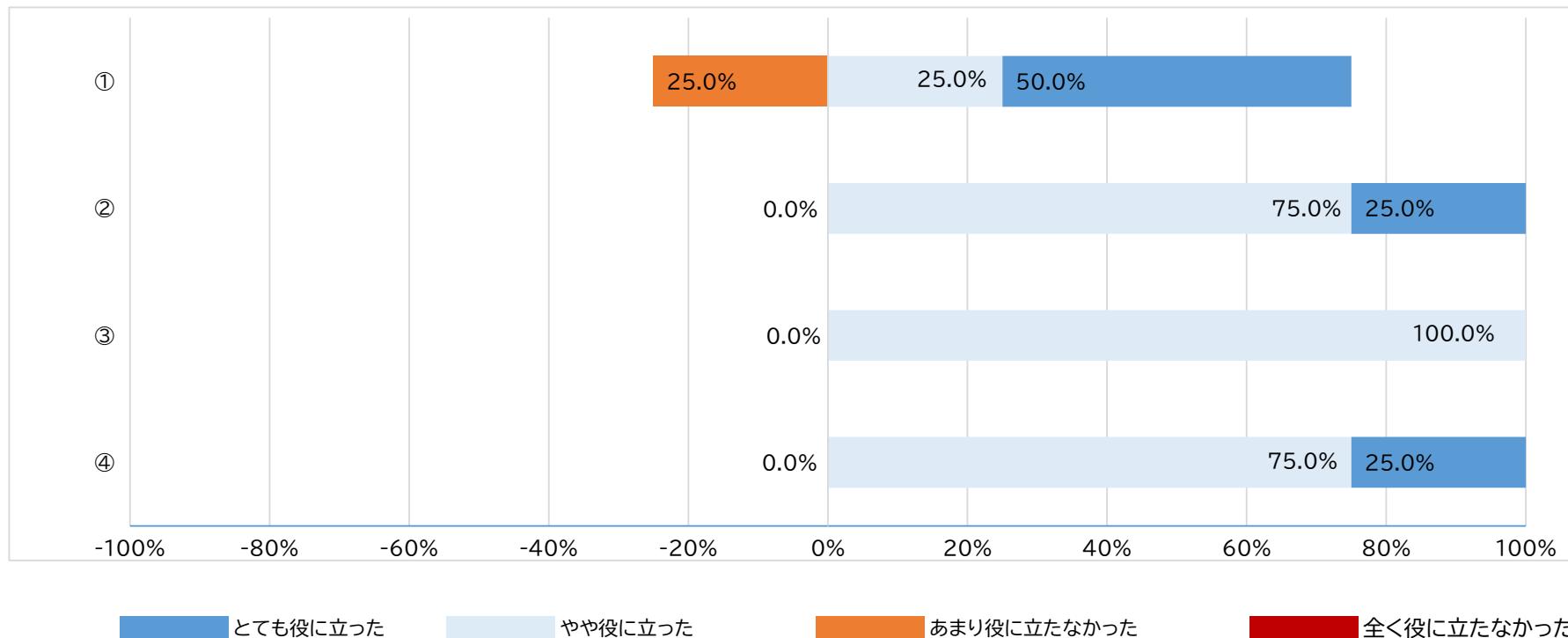


8.【保育科】本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について社会人になってから役に立ったと感じますか。（各項目4段階評価）

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保育者としての実践力を修得し、子ども観・保育観を身につけ、子どもと一緒に生活を考え続けることができ、社会の一員として協働し、貢献できる知性と教養を修得できた者に学位を授与します。

1. 保育者としての関心、意欲、熱意を身につけている。
2. 保育及び家庭支援に関する専門的知識と実践力を身につけている。
3. 保育にふさわしい環境を理解し、子どもと一緒に生活を作り上げる実践力を身につけている。
4. 知性と教養を修得し、社会の一員として、また保育者として貢献できる力を身につけている。



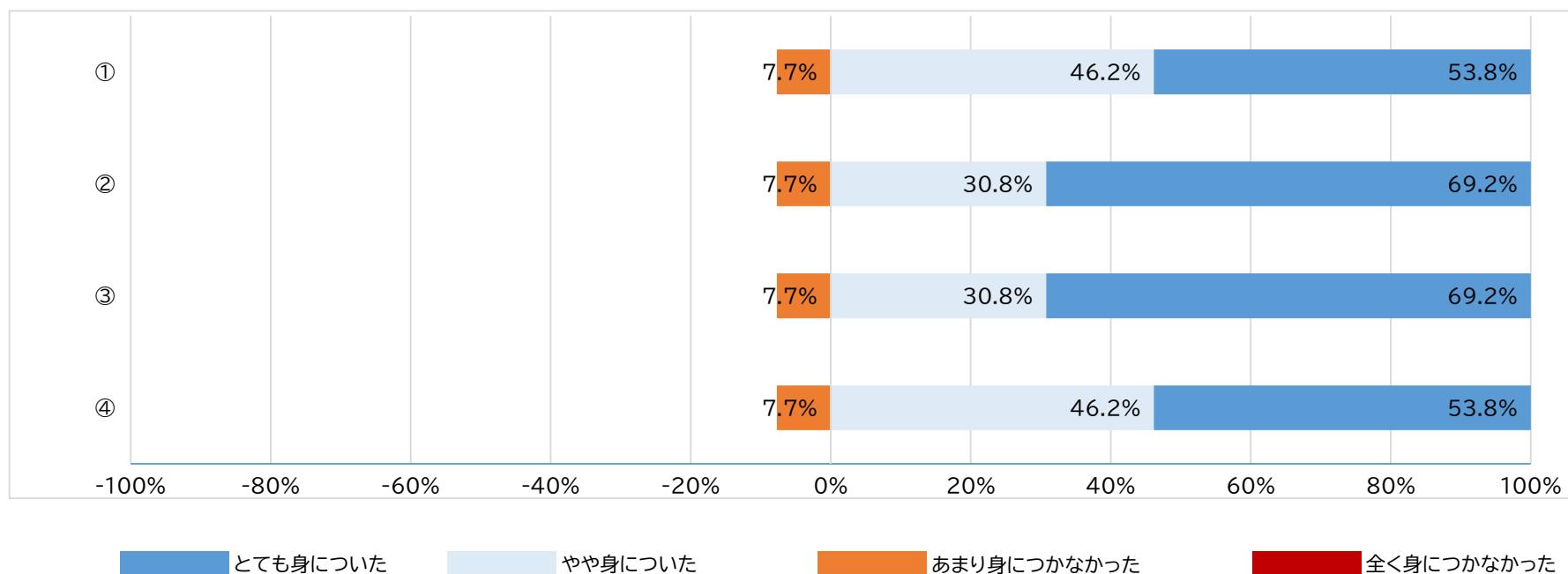
7.【音楽科】本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について、あなたは在学中にどの程度身についたと思いますか。(各項目4段階評価)

ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

音楽に親しむ者としての知識・能力を身につけ、それらを活用して自らの表現を探求するとともに、その過程で生じる様々な課題を解決できる力を身につけた者に卒業を認め、学位を授与します。

具体的な目標として、次のような学修成果を求めます。

1. 音楽の基本的な知識を理解・身につけている。
2. 演奏・創作技術を身につけている。
3. 様々な知識を総合的に活用して、自らの表現を探求できる。
4. 自身の課題を的確に把握して研究方法などを考え、或いは助言を求めるなど、問題を解決するために適切に判断できる。



□4項目のうち、「とても身についた」と回答した割合が高い項目は「①音楽の基本的な知識を理解・身につけている」(53.8%)
□反対に「あまり身につかなかった」と回答した割合は全項目共通で7.7%となった。

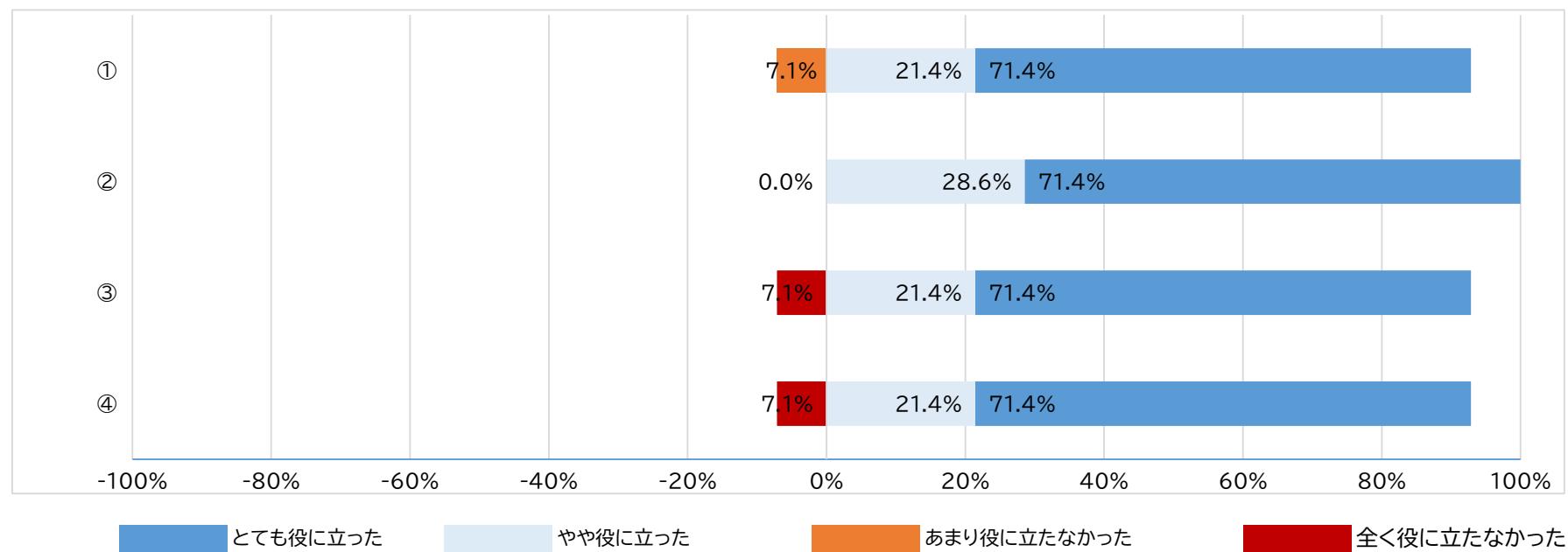
8.【音楽科】本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について社会人になってから役に立ったと感じますか。（各項目4段階評価）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

音楽に親しむ者としての知識・能力を身につけ、それらを活用して自らの表現を探求するとともに、その過程で生じる様々な課題を解決できる力を身につけた者に卒業を認め、学位を授与します。

具体的な目標として、次のような学修成果を求めます。

1. 音楽の基本的な知識を理解・身につけている。
2. 演奏・創作技術を身につけている。
3. 様々な知識を総合的に活用して、自らの表現を探求できる。
4. 自身の課題を的確に把握して研究方法などを考え、或いは助言を求めるなど、問題を解決するために適切に判断できる。



□5項目のうち、「役に立った」と回答した割合が高い項目は「②演奏・創作技術を身につけている。」(100.0%)

□反対に「全く身につかなかった」と回答した割合が高い項目は、「③様々な知識の総合的な活用・自らの表現の探求できる」

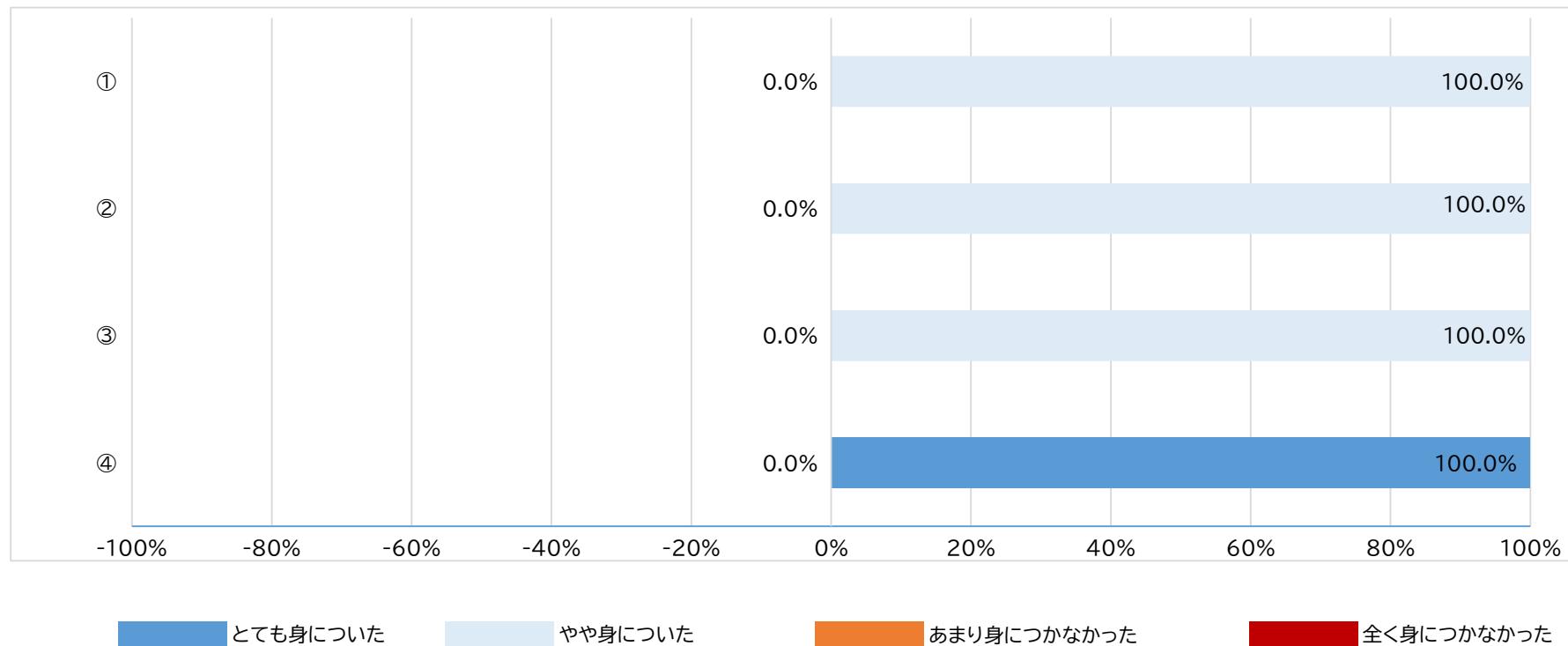
「④自身の課題を的確に把握して研究方法などを考え、或いは助言を求めるなど、問題を解決するために適切に判断できる。」(7.1%)

7.【専攻科】本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー（学位授与の方針）で掲げているそれぞれの能力について、あなたは在学中にどの程度身についたと思いますか。（各項目4段階評価）

ディプロマ・ポリシー（修了認定）

音楽家としての作曲と演奏技術や専門知識を習得し、発表の準備を自らの力で進めるための主体的に学び考える力、そのマネージメント力、さらに共演者や社会と係わるコミュニケーション力を培うことができた者に、修了を認めます。

1. 自らの創意工夫による豊かな表現のため、確かな作曲と演奏技術を身につける。
2. 自らの創意工夫による豊かな表現が裏打ちされたものとなるよう、確かな知識を身につける。
3. 作曲と演奏に必要な作品研究や作曲と練習活動を、自ら考え実行できる判断力、自律性を身につける。
4. 自らの考えを他人に的確に伝え、また、他人の考えを聞いて意見交換できるコミュニケーション能力を身につける。

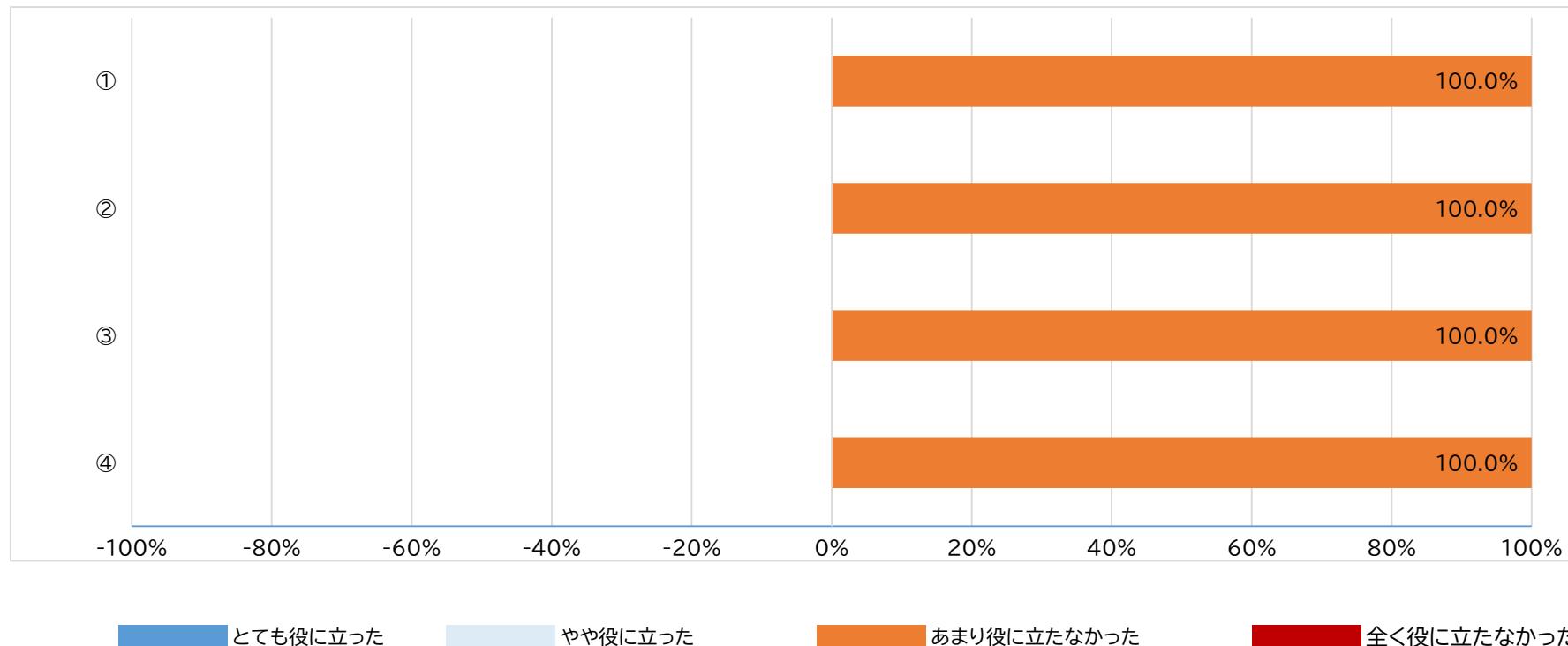


8.【専攻科】本学での学びを通じ、本学のディプロマポリシー(学位授与の方針)で掲げているそれぞれの能力について社会人になってから役に立ったと感じますか。（各項目4段階評価）

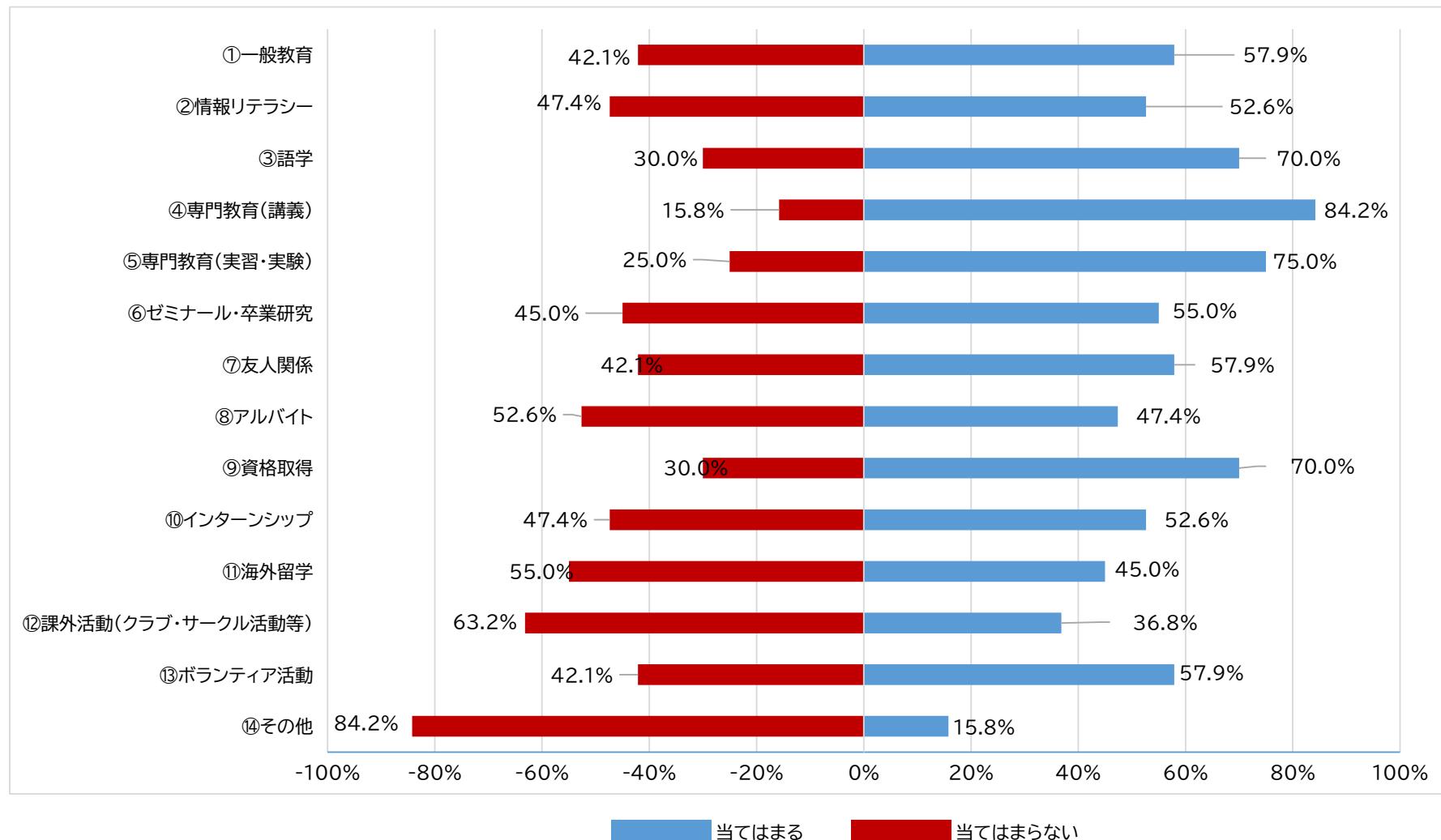
ディプロマ・ポリシー（修了認定）

音楽家としての作曲と演奏技術や専門知識を習得し、発表の準備を自らの力で進めるための主体的に学び考える力、そのマネージメント力、さらに共演者や社会と係わるコミュニケーション力を培うことができた者に、修了を認めます。

1. 自らの創意工夫による豊かな表現のため、確かな作曲と演奏技術を身につける。
2. 自らの創意工夫による豊かな表現が裏打ちされたものとなるよう、確かな知識を身につける。
3. 作曲と演奏に必要な作品研究や作曲と練習活動を、自ら考え実行できる判断力、自律性を身につける。
4. 自らの考えを他人に的確に伝え、また、他人の考えを聞いて意見交換できるコミュニケーション能力を身につける。



9.以下の項目について、あなたが学生時代にもっと取り組めばよかったと思うことについて教えてください。



□「当てはまる」と回答した割合が高い項目は、「④専門教育」(84.2%)

□反対に「当てはまらない」と回答した割合が高い項目は、「⑫課外活動(クラブ・サークル活動等)」(63.2%)